

第2期  
宮若市地域福祉計画アンケート調査  
結果報告書

令和5年3月  
福岡県宮若市



# 目 次

## I 調査概要

1 調査目的	3
2 調査概要	3
3 回収状況	3
4 報告書利用上の注意	3

## II 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

1 あなたのことについて	7
2 「地域」との関わりについて	9
3 「福祉」について	14
4 地域福祉に関わる機関や団体について	23
5 災害時の避難について	27
6 コロナ禍における暮らしについて	30
7 生活困窮者の自立支援について	32
8 地域における再犯防止について	33
9 今後の地域福祉のあり方について	34
10 自由意見	36

## III 地域福祉計画に関する団体・事業者アンケート調査

1 貴団体について	39
2 他の団体や機関との連携について	41
3 自由意見	48



# I 調査概要



## 1 調査目的

本調査は、第2期宮若市地域福祉計画策定にあたり、市民の皆様や福祉に関する活動をされている団体・事業者様のニーズや地域の課題などについてお聞きし、今後の具体的な施策を推進するための基礎資料とするために実施しました。

## 2 調査概要

### ○地域福祉計画に関するアンケート調査

- (1)調査対象者 宮若市に住む 20 歳以上の市民の中から 2,000 人を抽出
- (2)調査方法 郵送による配布、回収調査  
郵送による配布、Web による回答
- (3)調査期間 令和4年 12 月 20 日～令和5年 1 月 11 日

### ○地域福祉計画に関する団体・事業者アンケート調査

- (1)調査対象者 宮若市内にある福祉事業者等(児童・障がい・高齢者)100 事業所
- (2)調査方法 郵送による配布、回収調査
- (3)調査期間 令和4年 12 月 1 日～令和4年 12 月 27 日

## 3 回収状況

調査対象	発送数	回収数		回収率
地域福祉計画に関するアンケート調査	2,000 件	郵送 599 件	671 件	33.6%
		WEB 72 件		
地域福祉計画に関する団体・事業者アンケート調査	100 件	67 件		67.0%

## 4 報告書利用上の注意

- 端数処理の関係上、構成比(%)の計が 100%とならないことがあります。
- 図表の構成比(%)は小数第 2 位以下を四捨五入したものです。
- 複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると 100%を超える場合があります。
- 図中の”n=”は、各設問の対象者数を表しています。
- 表の上段は構成比、下段は回答数を表しています。





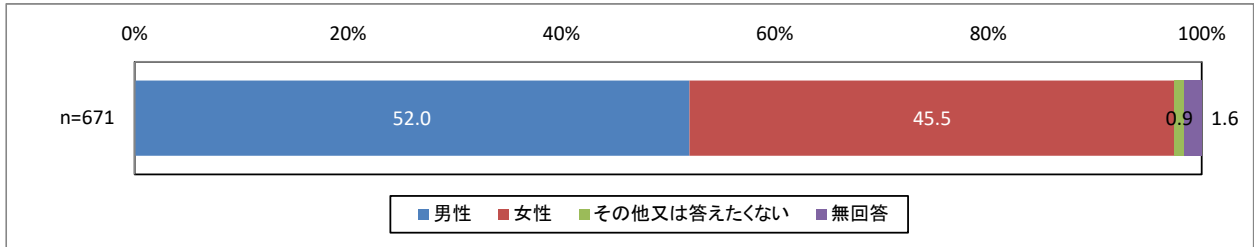
## Ⅱ 地域福祉計画に関する アンケート調査結果



# 1 あなたのことについて

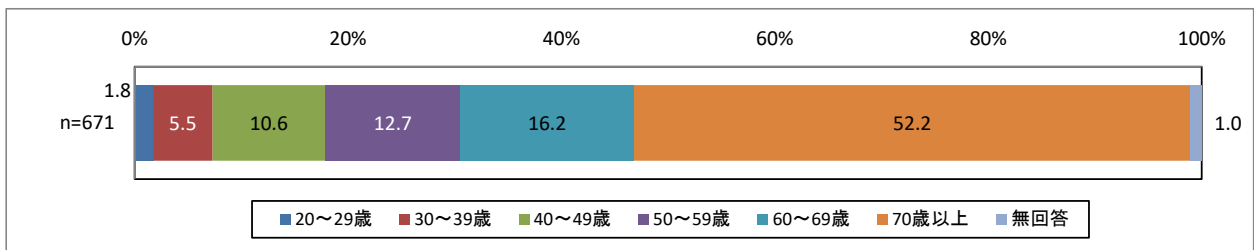
## 問1 性別を教えてください。

「男性」が 52.0%で最も多く、次いで「女性」45.5%、「その他又は答えたくない」0.9%の順となっています。



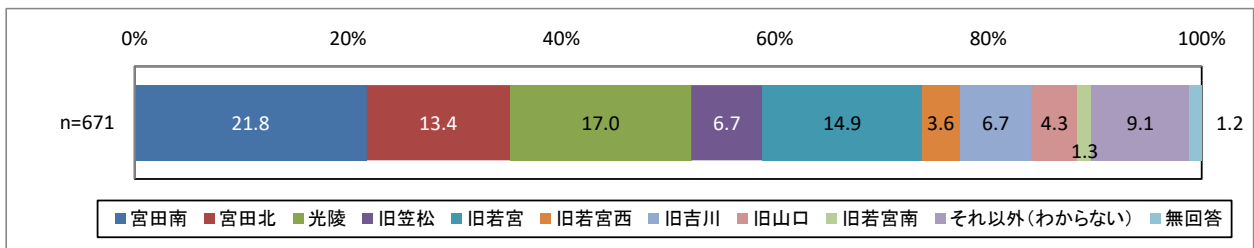
## 問2 年齢を教えてください。

「70歳以上」が 52.2%で最も多く、次いで「60～69歳」16.2%、「50～59歳」12.7%の順となっています。



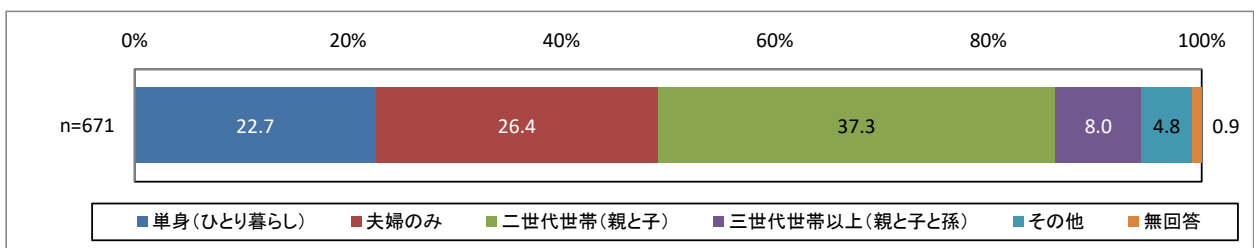
## 問3 住んでいる小学校区を教えてください。

「宮田南」が 21.8%で最も多く、次いで「光陵」17.0%、「旧若宮」14.9%の順となっています。



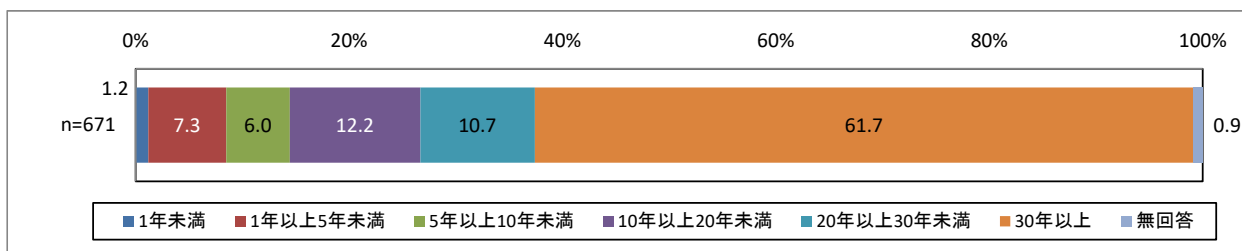
## 問4 家族構成を教えてください。

「二世帯世帯(親と子)」が 37.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ」26.4%、「単身(ひとり暮らし)」22.7%の順となっています。



### 問5 現在の地域に住んでどれくらいになりますか。

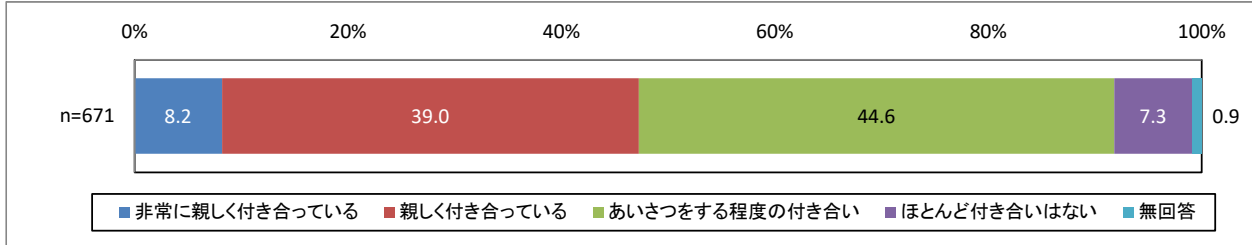
「30年以上」が61.7%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」12.2%、「20年以上30年未満」10.7%の順となっています。



## 2 「地域」との関わりについて

### 問6 あなたはご近所の人とどの程度お付き合いがありますか。

「あいさつをする程度の付き合い」が 44.6%で最も多く、次いで「親しく付き合っている」39.0%、「非常に親しく付き合っている」8.2%の順となっています。



近所付き合いの程度を年齢別で見ると、「親しく付き合っている」で「60歳以上」、「ほとんど付き合いはない」では、「20代」が多くなっています。

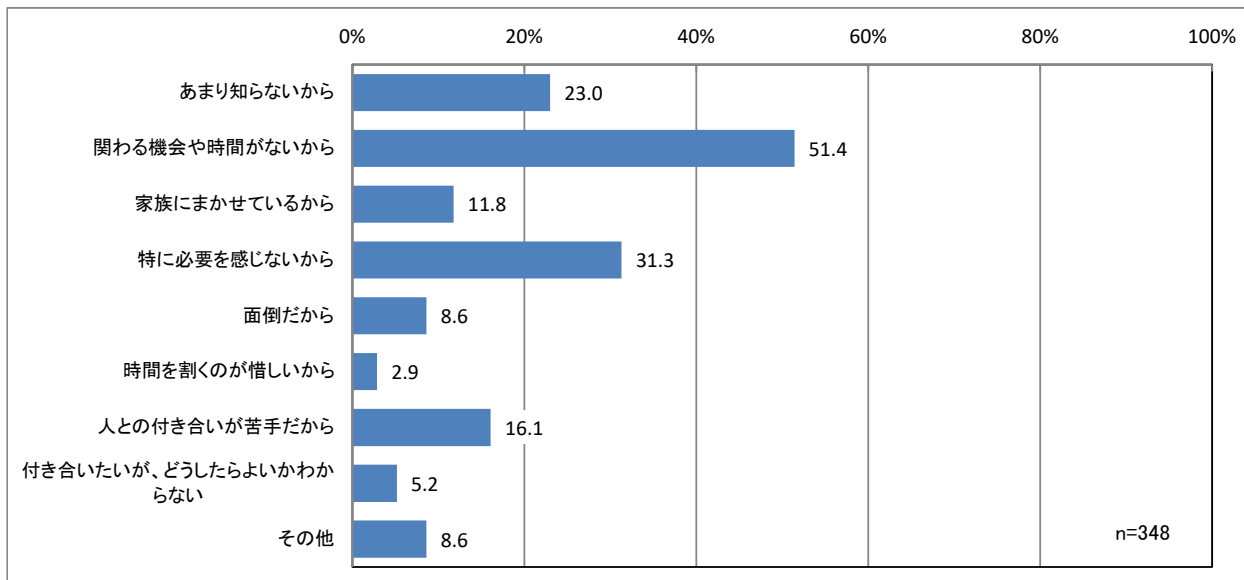
居住年数別では、「非常に親しく付き合っている」「親しく付き合っている」ともに、「30年以上」が多くなっています。

属性	区分	全体	非常に親しく付き合っている	親しく付き合っている	あいさつをする程度の付き合い	ほとんど付き合いはない	無回答
総数	-	100.0	8.2	39.0	44.6	7.3	0.9
		671	55	262	299	49	6
年齢	20～29歳	100.0	-	-	58.3	41.7	-
		12	-	-	7	5	-
	30～39歳	100.0	-	27.0	64.9	8.1	-
		37	-	10	24	3	-
	40～49歳	100.0	5.6	23.9	56.3	14.1	-
		71	4	17	40	10	-
	50～59歳	100.0	1.2	32.9	57.6	8.2	-
	85	1	28	49	7	-	
60～69歳	100.0	8.3	43.1	40.4	7.3	0.9	
	109	9	47	44	8	1	
	70歳以上	100.0	11.4	45.4	37.7	4.6	0.9
	350	40	159	132	16	3	
居住年数	1年未満	100.0	-	25.0	75.0	-	-
		8	-	2	6	-	-
	1年以上5年未満	100.0	-	18.4	59.2	22.4	-
		49	-	9	29	11	-
	5年以上10年未満	100.0	-	15.0	72.5	12.5	-
		40	-	6	29	5	-
	10年以上20年未満	100.0	3.7	19.5	62.2	14.6	-
	82	3	16	51	12	-	
20年以上30年未満	100.0	2.8	27.8	61.1	8.3	-	
	72	2	20	44	6	-	
30年以上	100.0	12.1	50.2	33.1	3.6	1.0	
	414	50	208	137	15	4	

問6で「3. あいさつをする程度の付き合い」「4. ほとんど付き合いはない」と回答した方におうかがいします。

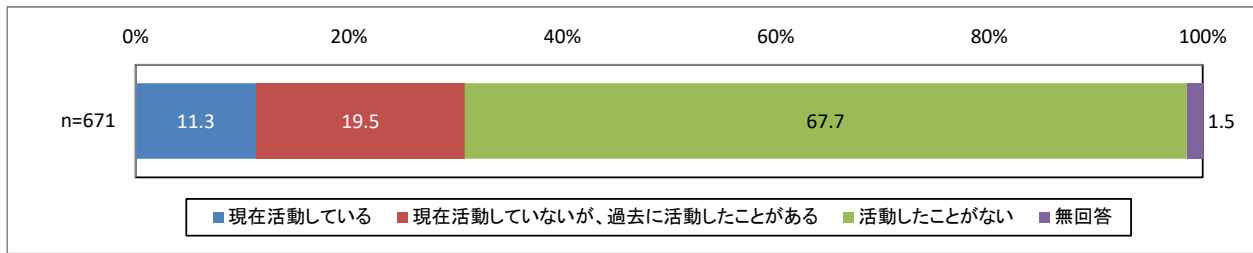
問6-1 付き合いがほとんどないのはなぜですか。(複数回答)

「関わる機会や時間がないから」が 51.4%で最も多く、次いで「特に必要を感じないから」31.3%、「あまり知らないから」23.0%の順となっています。



問7 あなたは、宮若市でひとり暮らしのお年寄りの見守りや子育て支援等のボランティア活動（以下「活動」）をしたことがありますか。

「活動したことがない」が67.7%で最も多く、次いで「現在活動していないが、過去に活動したことがある」19.5%、「現在活動している」11.3%の順となっています。



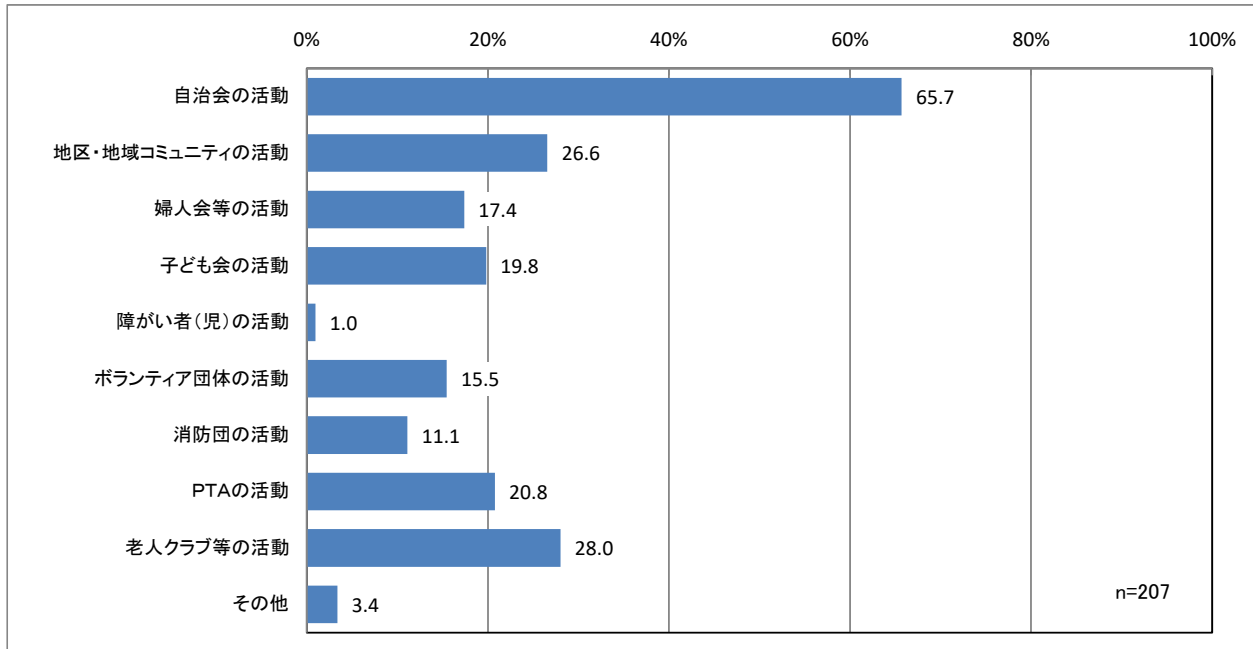
ボランティアの活動状況を年齢別で見ると、「現在活動している」では、年代が高くなるほど多くなっています。

属性	区分	全体	現在活動している			無回答
			現在活動している	過去に活動したことがあるが、現在活動していない	活動したことがない	
総数	-	100.0	11.3	19.5	67.7	1.5
		671	76	131	454	10
年齢	20～29歳	100.0	-	-	100.0	-
		12	-	-	12	-
	30～39歳	100.0	8.1	5.4	86.5	-
		37	3	2	32	-
	40～49歳	100.0	8.5	12.7	78.9	-
		71	6	9	56	-
	50～59歳	100.0	11.8	7.1	81.2	-
		85	10	6	69	-
60～69歳	100.0	10.1	18.3	70.6	0.9	
	109	11	20	77	1	
70歳以上	100.0	13.1	26.3	58.6	2.0	
	350	46	92	205	7	

問7で「1. 現在活動している」「2. 現在活動していないが、過去に活動したことがある」と回答した方におうかがいします。

問7-1 どんな活動をしていますか(していましたか)。(複数回答)

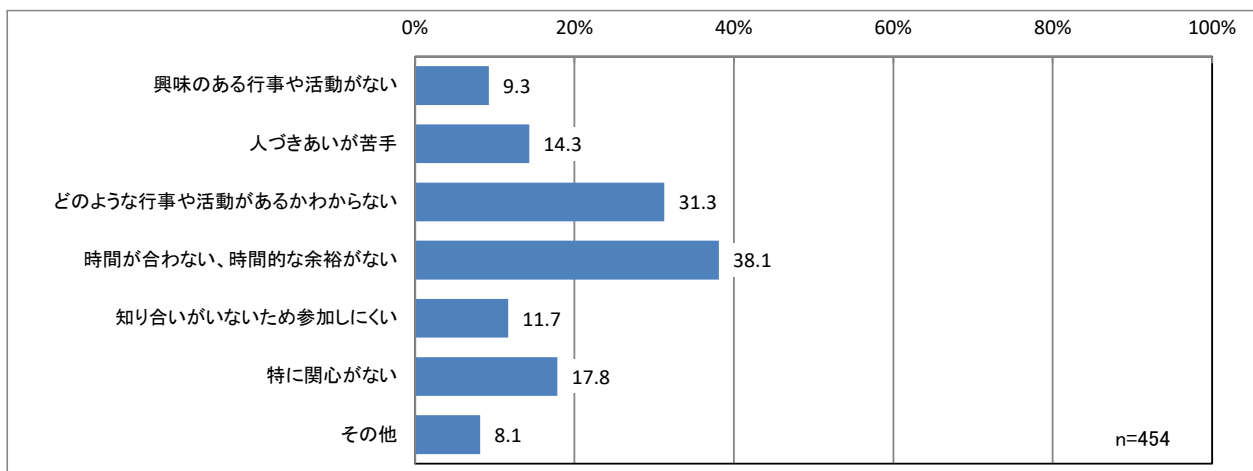
「自治会の活動」が65.7%で最も多く、次いで「老人クラブ等の活動」28.0%、「地区・地域コミュニティの活動」26.6%の順となっています。



問7で「3. 活動したことがない」と回答した方におうかがいします。

問7-2 活動したことがない理由は何ですか。(複数回答)

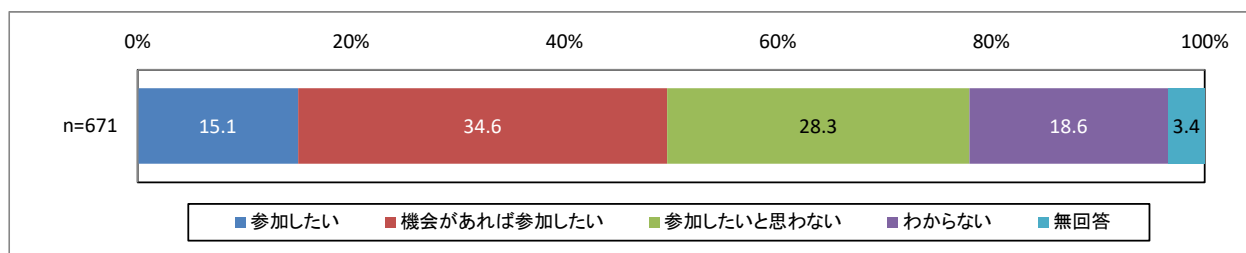
「時間が合わない、時間的な余裕がない」が38.1%で最も多く、次いで「どのような行事や活動があるかわからない」31.3%、「特に関心がない」17.8%の順となっています。





問8 あなたは、今後とも、あるいは今後、自治会や子ども会、PTAなどの活動や行事に参加したいと思いますか。

「機会があれば参加したい」が 34.6%で最も多く、次いで「参加したいと思わない」28.3%、「わからない」18.6%の順となっています。



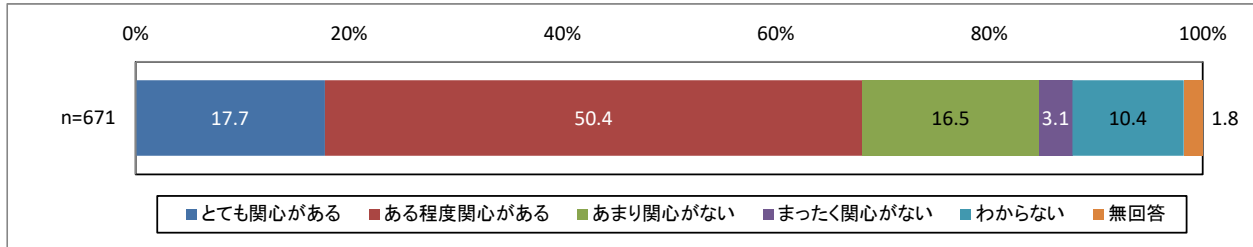
PTAなどの活動や行事の参加意向を年齢別にみると、あまり年代に片寄らず、「参加したい」「機会があれば参加したい」の回答がみられます。

属性	区分	全体	参加意向				
			参加したい	機会があれば参加したい	参加したいと思わない	わからない	無回答
総数	-	100.0	15.1	34.6	28.3	18.6	3.4
		671	101	232	190	125	23
年齢	20～29歳	100.0	-	16.7	75.0	8.3	-
		12	-	2	9	1	-
	30～39歳	100.0	13.5	29.7	29.7	27.0	-
		37	5	11	11	10	-
	40～49歳	100.0	9.9	39.4	38.0	12.7	-
		71	7	28	27	9	-
	50～59歳	100.0	8.2	35.3	31.8	24.7	-
		85	7	30	27	21	-
	60～69歳	100.0	14.7	36.7	28.4	18.3	1.8
		109	16	40	31	20	2
	70歳以上	100.0	18.6	34.0	23.7	18.3	5.4
		350	65	119	83	64	19

### 3 「福祉」について

#### 問9 あなたは福祉について関心がありますか。

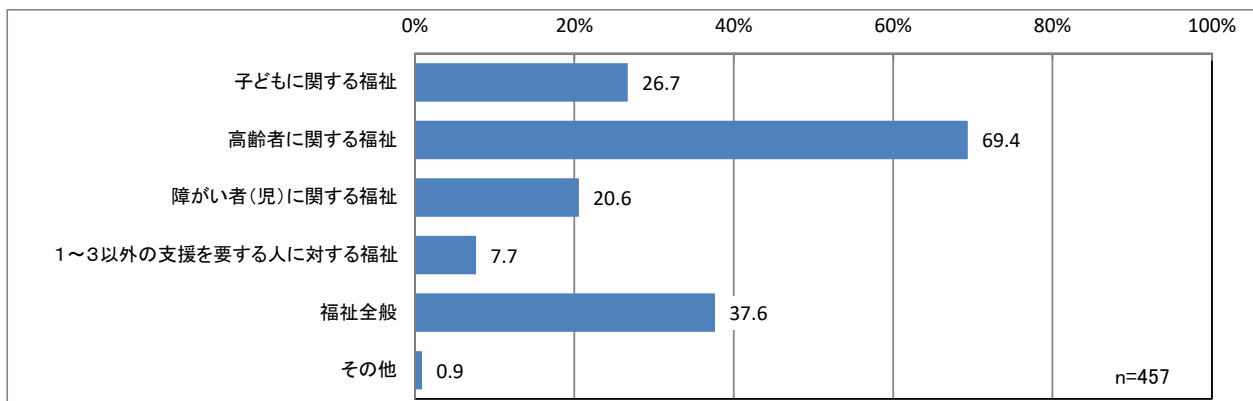
「ある程度関心がある」が 50.4%で最も多く、次いで「とても関心がある」17.7%、「あまり関心がない」16.5%の順となっています。



問9で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と回答した方におうかがいします。

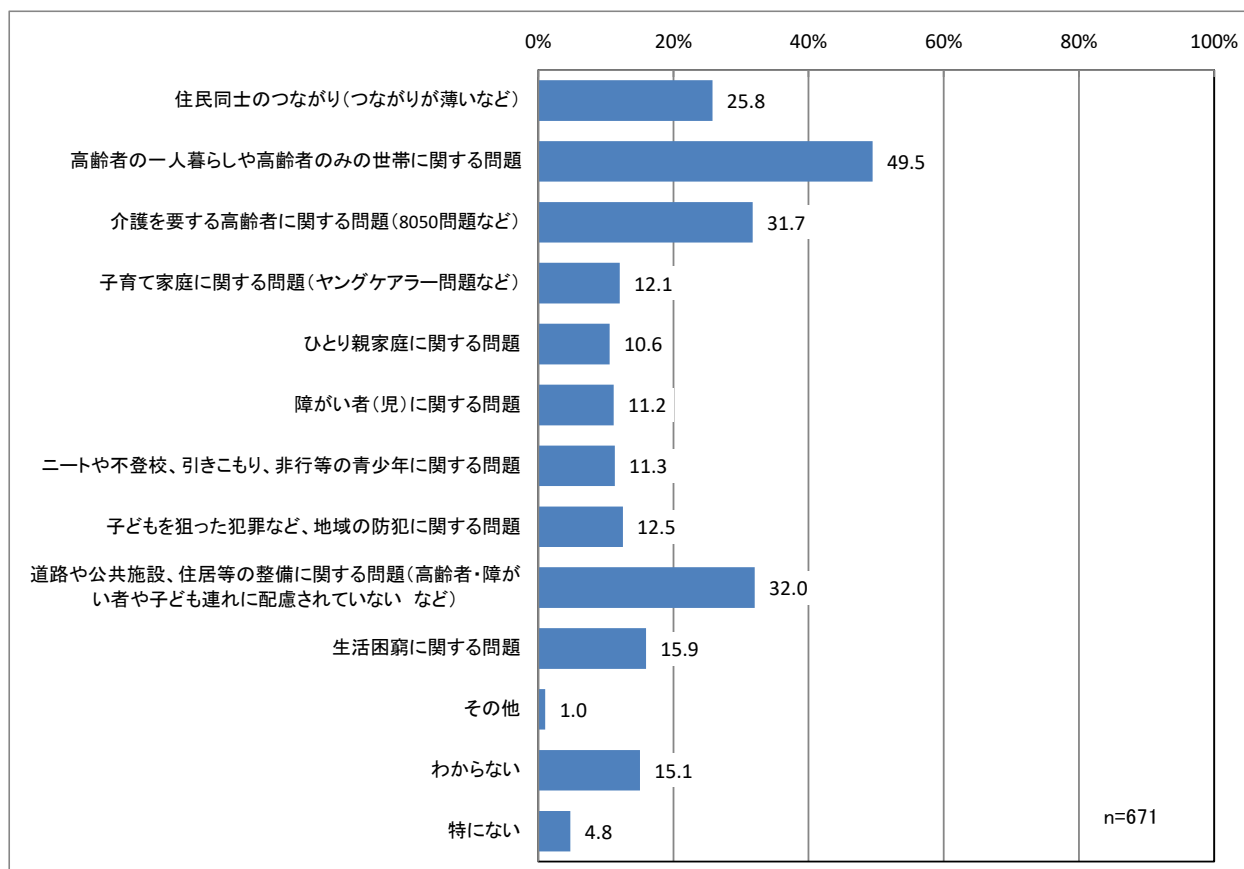
#### 問9-1 福祉のどのような分野に関心がありますか。(複数回答)

「高齢者に関する福祉」が 69.4%で最も多く、次いで「福祉全般」37.6%、「子どもに関する福祉」26.7%の順となっています。



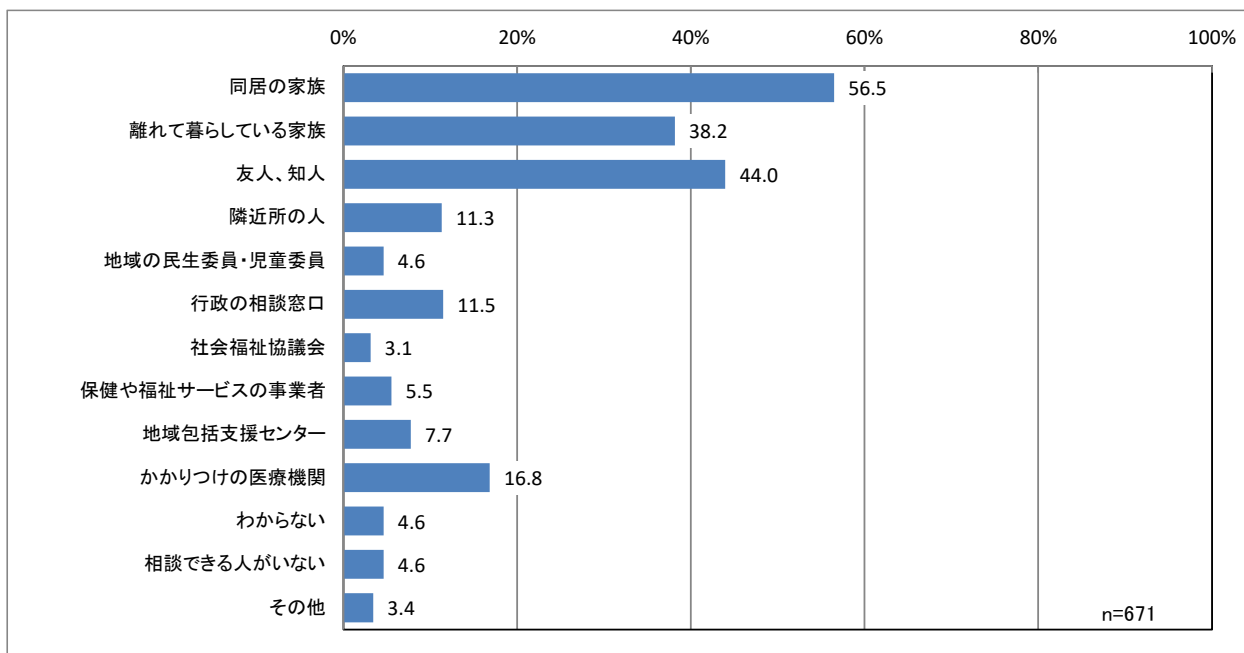
問10 あなたの住んでいる地域には、福祉に関わるどのような課題・問題があると思いますか。  
(複数回答)

「高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯に関する問題」が 49.5%で最も多く、次いで「道路や公共施設、住居等の整備に関する問題(高齢者・障がい者や子ども連れに配慮されていない など)」32.0%、「介護を要する高齢者に関する問題(8050問題など)」31.7%の順となっています。



問11 あなたが、悩みや心配ごとを相談する場合、主にどこに相談しますか。(〇は3つまで)

「同居の家族」が 56.5%で最も多く、次いで「友人、知人」44.0%、「離れて暮らしている家族」38.2%の順となっています。



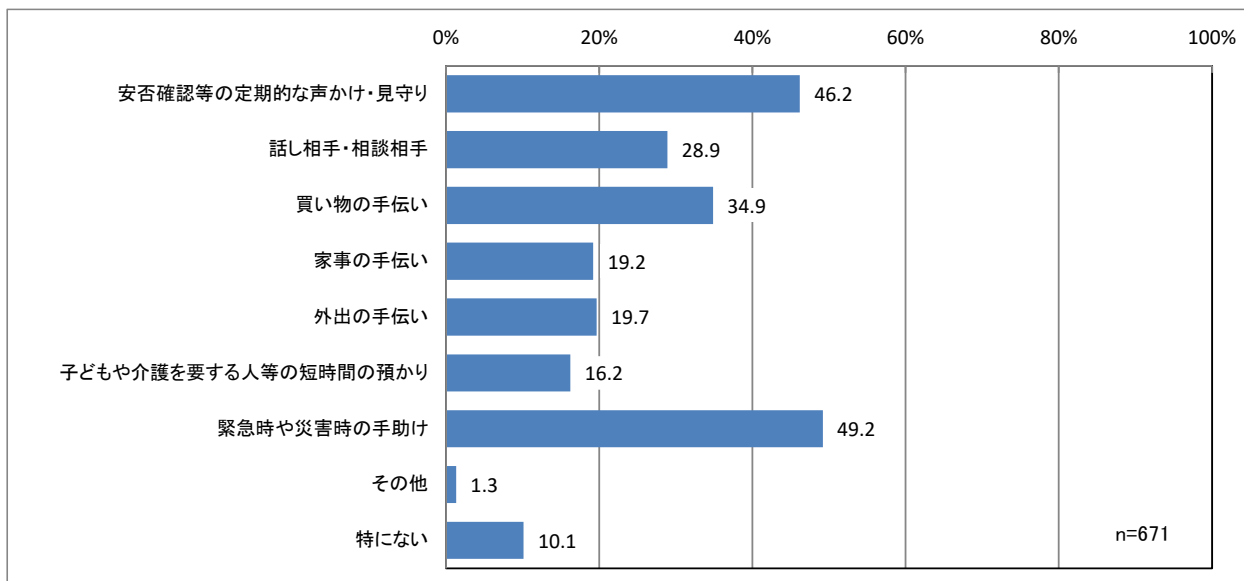
悩みや心配ごとの相談先を性別でみると、「同居の家族」「行政の相談窓口」「かかりつけの医療機関」において「男性」が多くなっています。

年齢別では、「同居の家族」「友人、知人」で「30～50 歳代」、「かかりつけの医療機関」で「60 歳以上」が多くなっています。

属性	区分	全体	相談先												
			同居の家族	離れて暮らしている家族	友人、知人	隣近所の人	地域の民生委員・児童委員	行政の相談窓口	社会福祉協議会	保健や福祉サービスの事業者	地域包括支援センター	かかりつけの医療機関	わからない	相談できる人がいない	その他
総数	-	100.0	56.5	38.2	44.0	11.3	4.6	11.5	3.1	5.5	7.7	16.8	4.6	4.6	3.4
		671	379	256	295	76	31	77	21	37	52	113	31	31	23
性別	男性	100.0	63.0	31.5	40.7	11.7	4.6	14.9	4.0	4.9	5.7	19.5	5.4	5.7	3.2
		349	220	110	142	41	16	52	14	17	20	68	19	20	11
	女性	100.0	49.8	45.6	48.5	10.8	4.6	7.9	2.0	6.2	10.5	14.4	3.6	3.3	3.3
		305	152	139	148	33	14	24	6	19	32	44	11	10	10
その他	100.0	50.0	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	16.7	
		6	3	2	2	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
年齢	20～29歳	100.0	75.0	41.7	58.3	-	-	16.7	-	-	-	8.3	16.7	-	-
		12	9	5	7	-	-	2	-	-	-	1	2	-	-
	30～39歳	100.0	67.6	54.1	67.6	5.4	-	5.4	-	2.7	-	-	-	5.4	8.1
		37	25	20	25	2	-	2	-	1	-	-	-	2	3
	40～49歳	100.0	70.4	38.0	53.5	7.0	-	12.7	1.4	4.2	4.2	5.6	4.2	7.0	-
		71	50	27	38	5	-	9	1	3	3	4	3	5	-
	50～59歳	100.0	65.9	32.9	64.7	11.8	1.2	10.6	-	4.7	3.5	14.1	4.7	4.7	3.5
	85	56	28	55	10	1	9	-	4	3	12	4	4	3	
60～69歳	100.0	62.4	35.8	50.5	13.8	5.5	12.8	0.9	5.5	9.2	19.3	4.6	2.8	2.8	
	109	68	39	55	15	6	14	1	6	10	21	5	3	3	
70歳以上	100.0	48.3	38.3	32.6	12.6	6.9	11.4	5.4	6.3	10.3	21.1	4.6	4.9	4.0	
	350	169	134	114	44	24	40	19	22	36	74	16	17	14	

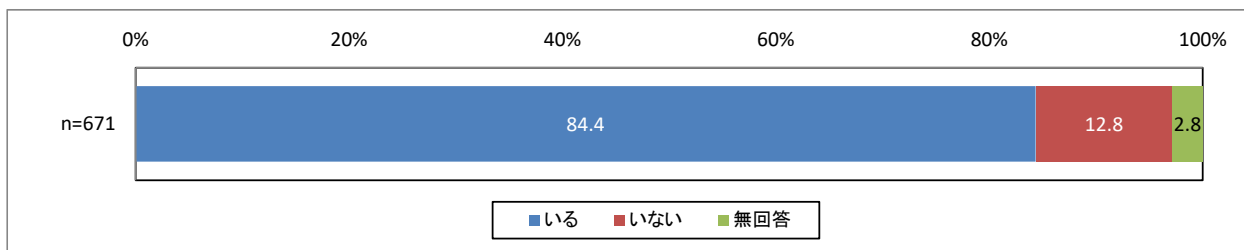
**問12 あなたやご家族が、高齢や病気・障がい、もしくは子育て等で日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。(複数回答)**

「緊急時や災害時の手助け」が 49.2%で最も多く、次いで「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」46.2%、「買い物の手伝い」34.9%の順となっています。



**問13 あなたは支援が必要になった時「助けて」といえる人がいますか。**

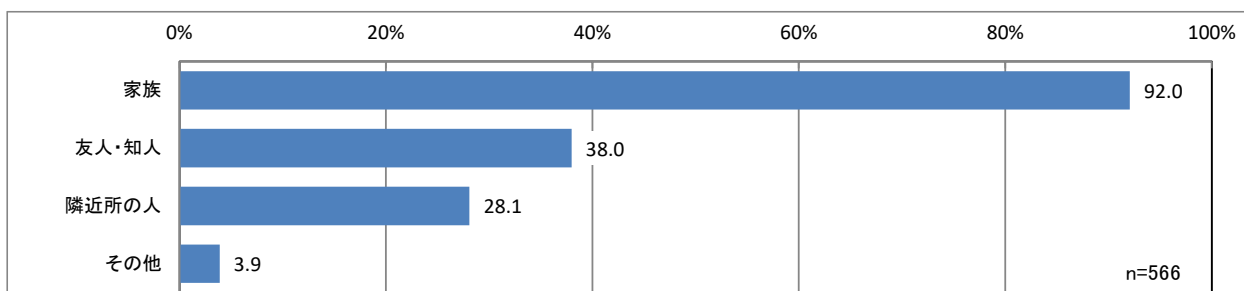
「いる」が 84.4%、「いない」が 12.8%となっています。



問13で「1. いる」と回答した方におうかがいします。

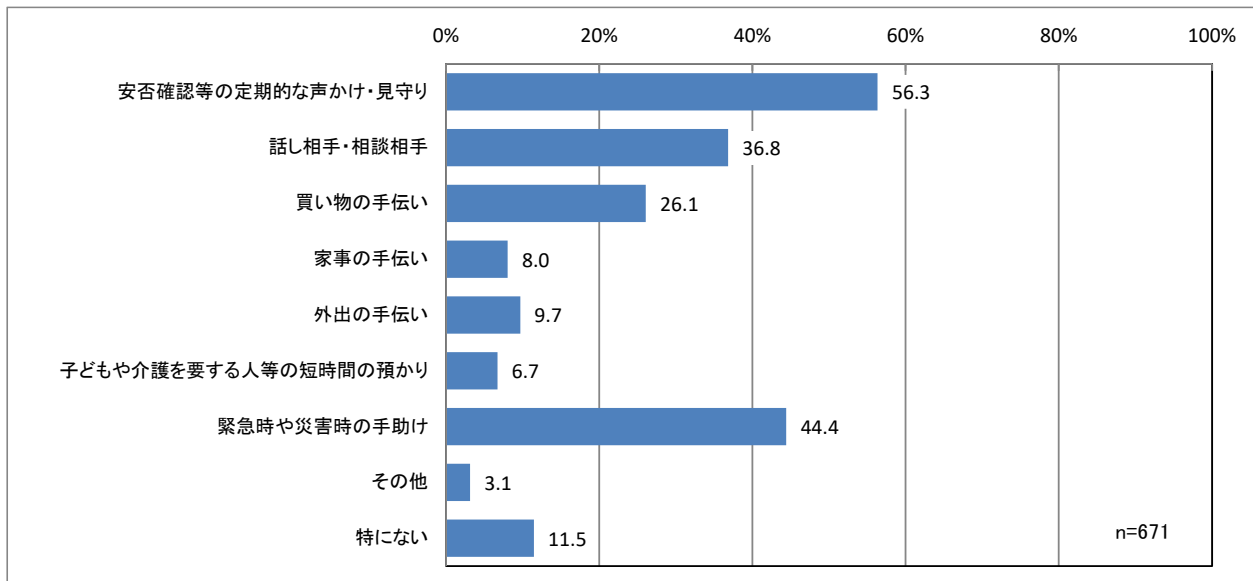
**問13-1 それはだれですか。(複数回答)**

「家族」が 92.0%で最も多く、次いで「友人・知人」38.0%、「隣近所の人」28.1%の順となっています。



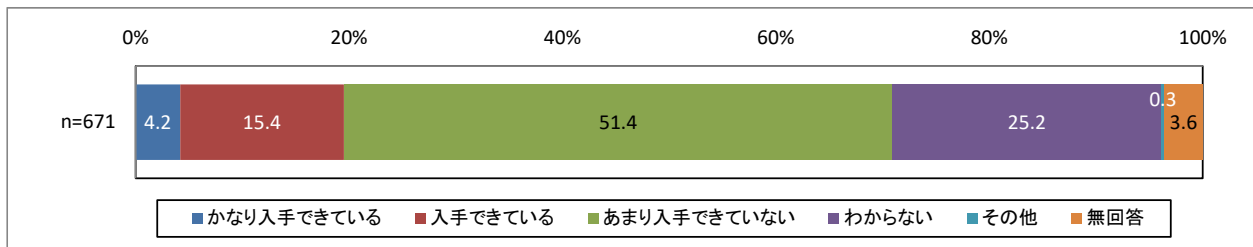
**問14 となり近所に、高齢や病気・障がい、もしくは子育て等で困っている家庭があった場合、どのような支援ができると思いますか。(複数回答)**

「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」が 56.3%で最も多く、次いで「緊急時や災害時の手助け」44.4%、「話し相手・相談相手」36.8%の順となっています。



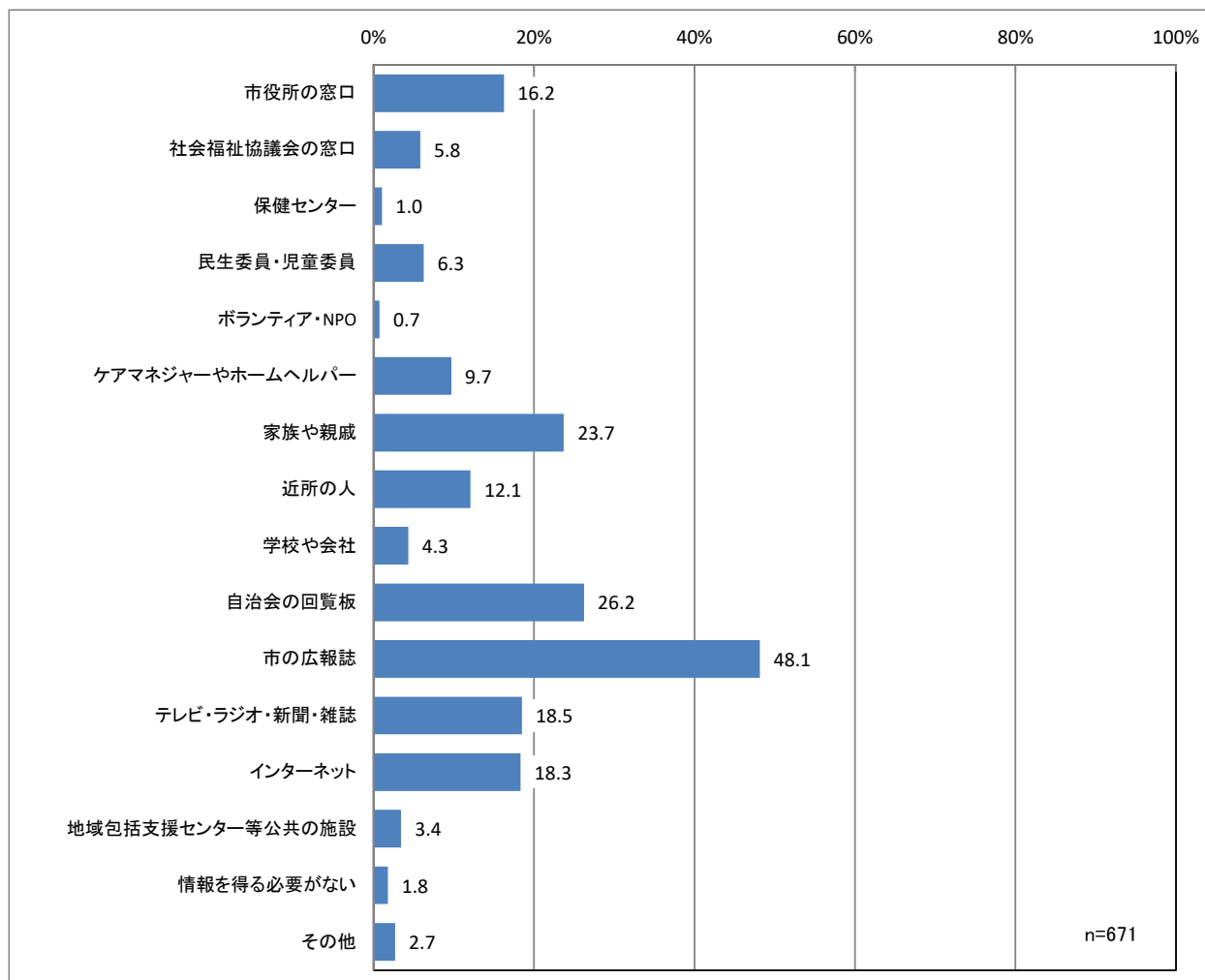
**問15 あなたは、「福祉サービス」に関する情報をどの程度入手できていますか。**

「あまり入手できていない」が 51.4%で最も多く、次いで「わからない」25.2%、「入手できている」15.4%の順となっています。



問16 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(〇は3つまで)

「市の広報誌」が 48.1%で最も多く、次いで「自治会の回覧板」26.2%、「家族や親戚」23.7%の順となっています。



福祉サービスに関する情報の入手先を性別で見ると、「市役所の窓口」「自治会の回覧板」「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」において「男性」、「ケアマネジャーやホームヘルパー」「市の広報誌」で女性が多くなっています。

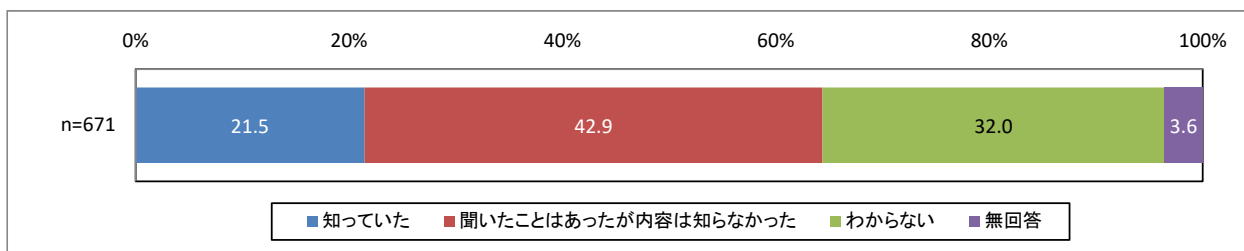
年齢別では、「自治会の回覧板」「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」で「70歳以上」、「インターネット」で「50歳代以下」が多くなっており、特に「20歳代」は非常に多くなっています。

属性	区分	全体	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	保健センター	民生委員・児童委員	ボランティア・NPO	ケアマネジャーやホームヘルパー	家族や親戚	近所の人	学校や会社	自治会の回覧板	市の広報誌	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	インターネット	地域包括支援センター等の公共施設等	情報を得る必要がない	その他
														雑誌	ネット	施設	ない	他
総数	-	100.0	16.2	5.8	1.0	6.3	0.7	9.7	23.7	12.1	4.3	26.2	48.1	18.5	18.3	3.4	1.8	2.7
		671	109	39	7	42	5	65	159	81	29	176	323	124	123	23	12	18
性別	男性	100.0	19.2	5.2	1.4	6.9	0.6	6.6	23.2	12.3	3.7	34.1	45.8	21.2	20.3	3.2	1.7	1.7
		349	67	18	5	24	2	23	81	43	13	119	160	74	71	11	6	6
	女性	100.0	12.8	6.6	0.7	5.2	1.0	13.1	24.3	11.1	5.2	18.0	52.5	15.7	16.1	3.9	2.0	3.9
		305	39	20	2	16	3	40	74	34	16	55	160	48	49	12	6	12
その他	100.0	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	50.0	33.3	50.0	-	-	-	
	6	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	2	3	-	-	-	
年齢	20～29歳	100.0	-	-	-	-	-	-	8.3	-	8.3	-	41.7	25.0	75.0	-	-	-
		12	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	3	9	-	-	-
	30～39歳	100.0	18.9	-	-	-	-	-	24.3	10.8	10.8	13.5	43.2	5.4	29.7	-	8.1	2.7
		37	7	-	-	-	-	-	9	4	4	5	16	2	11	-	3	1
	40～49歳	100.0	8.5	4.2	-	-	-	2.8	22.5	8.5	16.9	11.3	40.8	12.7	38.0	-	4.2	4.2
		71	6	3	-	-	-	2	16	6	12	8	29	9	27	-	3	3
	50～59歳	100.0	15.3	3.5	1.2	3.5	-	8.2	20.0	8.2	3.5	24.7	56.5	16.5	32.9	5.9	-	1.2
		85	13	3	1	3	-	7	17	7	3	21	48	14	28	5	-	1
	60～69歳	100.0	22.0	5.5	3.7	2.8	0.9	14.7	20.2	6.4	3.7	26.6	56.9	14.7	22.9	3.7	1.8	2.8
		109	24	6	4	3	1	16	22	7	4	29	62	16	25	4	2	3
	70歳以上	100.0	16.3	7.1	0.6	10.3	1.1	11.1	26.3	16.0	1.4	32.0	46.6	22.9	6.3	4.0	1.1	2.9
		350	57	25	2	36	4	39	92	56	5	112	163	80	22	14	4	10



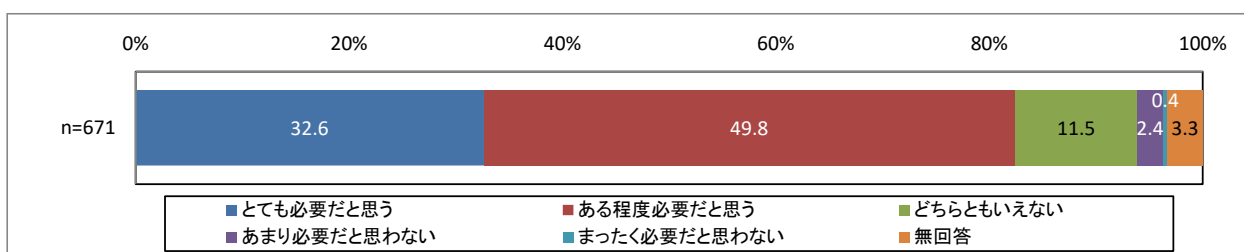
**問17 あなたは「地域福祉」という言葉を知っていますか。**

「聞いたことはあったが内容は知らなかった」が 42.9%で最も多く、次いで「わからない」32.0%、「知っている」21.5%の順となっています。



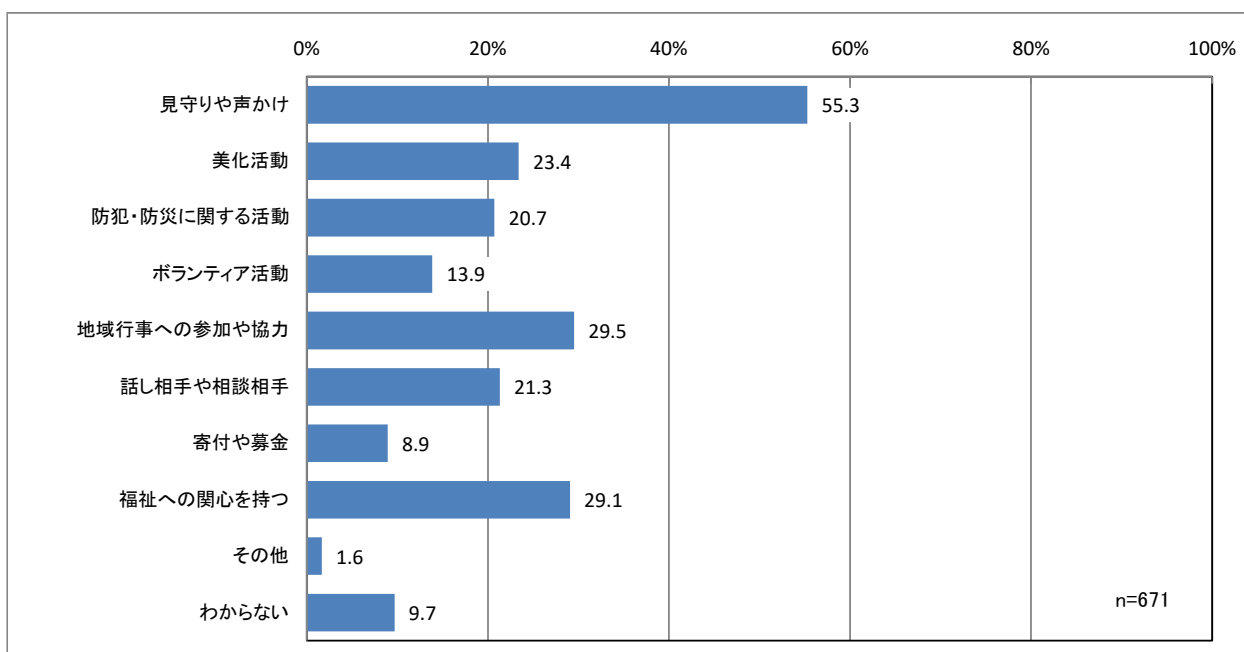
**問18 あなたは地域福祉に関する課題に対して、住民同士の助け合いや支えあいの必要性についてどう思いますか。**

「ある程度必要だと思う」が 49.8%で最も多く、次いで「とても必要だと思う」32.6%、「どちらともいえない」11.5%の順となっています。



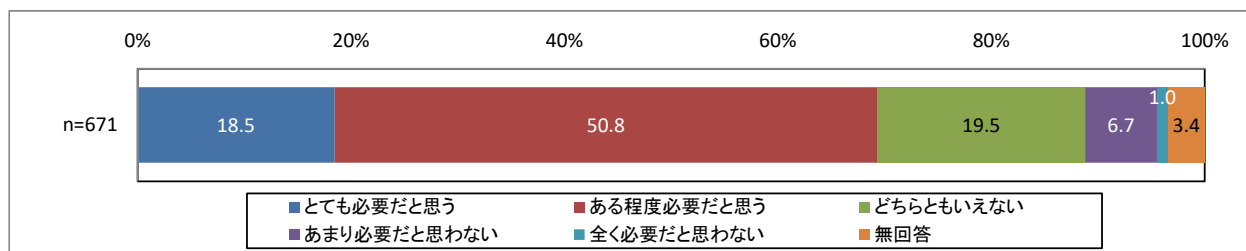
**問19 住民が安心して暮らせるように、あなたができると思うことは何ですか。(複数回答)**

「見守りや声かけ」が 55.3%で最も多く、次いで「地域行事への参加や協力」29.5%、「福祉への関心を持つ」29.1%の順となっています。



## 問20 あなたは家庭と職場以外に集う場所は必要だと思いますか。

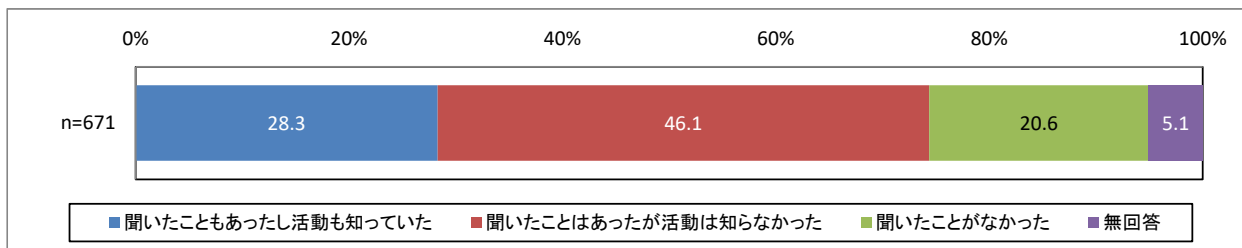
「ある程度必要だと思う」が 50.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」19.5%、「とても必要だと思う」18.5%の順となっています。



## 4 地域福祉に関わる機関や団体について

### 問21 あなたは社会福祉協議会の活動について知っていましたか。

「聞いたことはあったが活動は知らなかった」が46.1%で最も多く、次いで「聞いたこともあったし活動も知っていた」28.3%、「聞いたことがなかった」20.6%の順となっています。

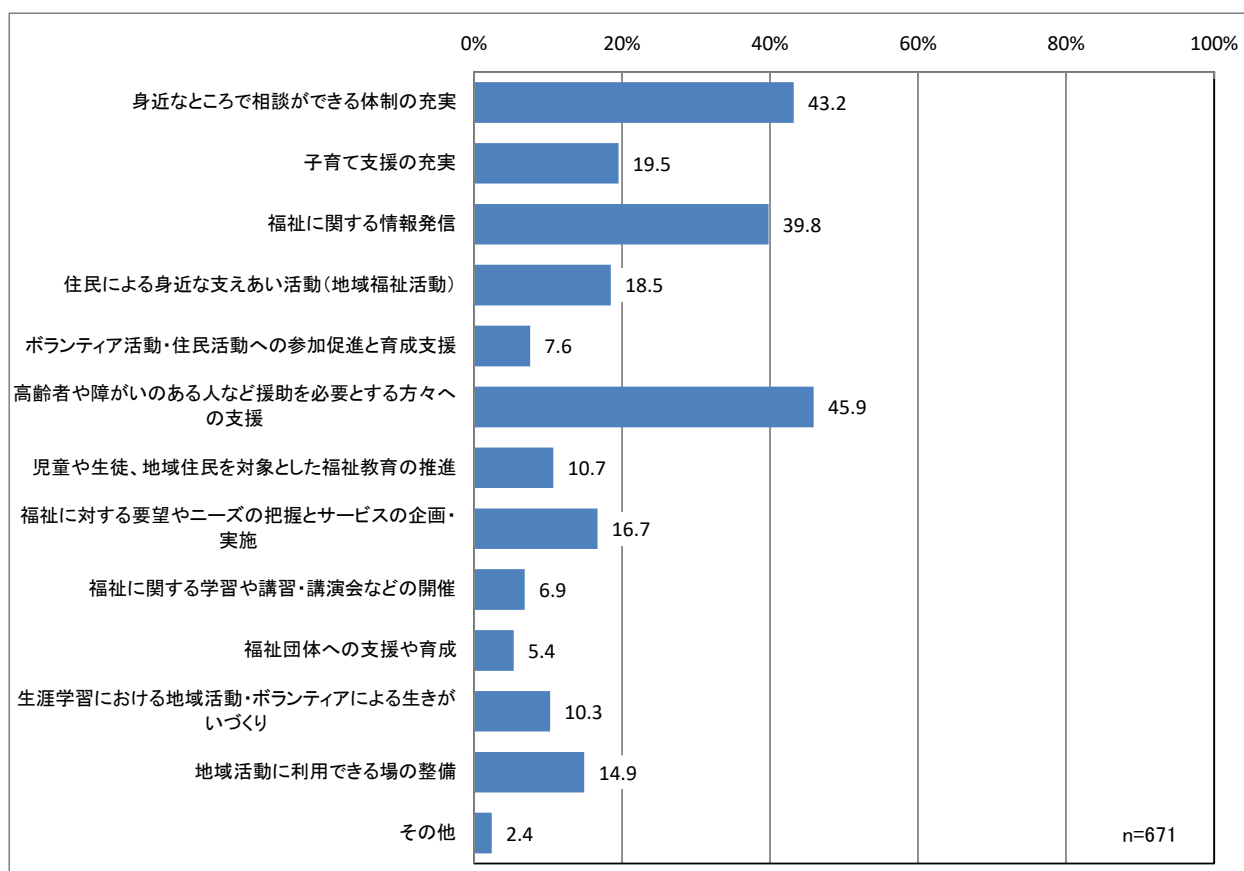


社会福祉協議会の活動内容の認知度を年齢別でみると、「聞いたこともあったし活動も知っていた」で「70歳以上」、「聞いたことがなかった」で「30歳代以下」が多くなっています。

属性	区分	全体	聞	聞	聞	無
			いた	いた	いた	
			こ	こ	こ	回
			も	も	も	答
			も	も	も	
			知	知	知	
			つ	つ	つ	
			て	て	て	
			た	た	た	
			し	し	し	
			た	た	た	
			活	活	活	
総数	-	100.0	28.3	46.1	20.6	5.1
		671	190	309	138	34
年齢	20~29歳	100.0	8.3	16.7	75.0	-
		12	1	2	9	-
	30~39歳	100.0	8.1	48.6	40.5	2.7
		37	3	18	15	1
	40~49歳	100.0	25.4	47.9	25.4	1.4
		71	18	34	18	1
	50~59歳	100.0	29.4	47.1	21.2	2.4
	85	25	40	18	2	
60~69歳	100.0	26.6	50.5	15.6	7.3	
	109	29	55	17	8	
70歳以上	100.0	32.3	45.4	16.9	5.4	
	350	113	159	59	19	

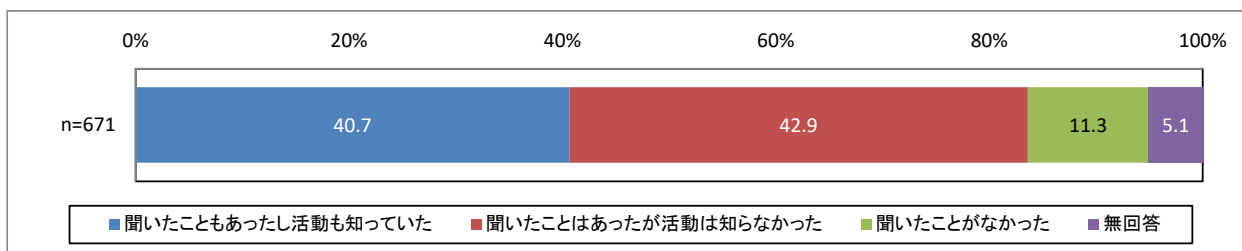
## 問22 社会福祉協議会が行う活動・支援で充実してほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

「高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々への支援」が45.9%で最も多く、次いで「身近なところで相談ができる体制の充実」43.2%、「福祉に関する情報発信」39.8%の順となっています。



### 問23 あなたは民生委員・児童委員が行う活動について知っていましたか。

「聞いたことはあったが活動は知らなかった」が 42.9%で最も多く、次いで「聞いたこともあったし活動も知っていた」40.7%、「聞いたことがなかった」11.3%の順となっています。

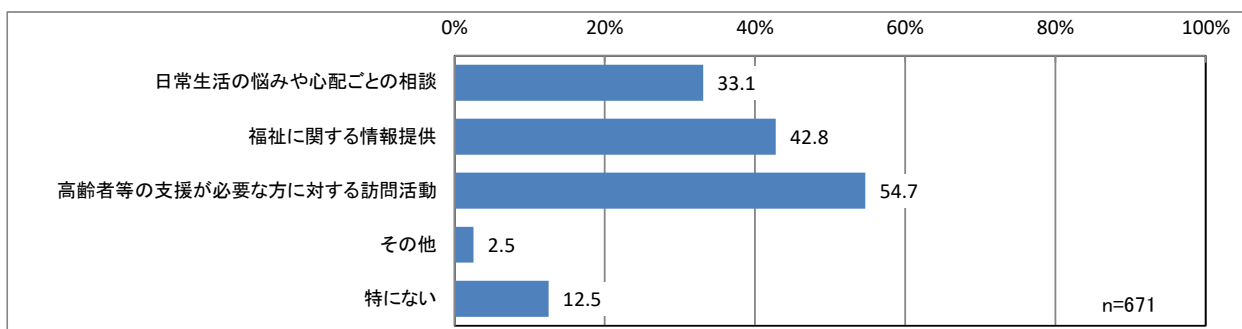


民生委員・児童委員の活動内容の認知度を年齢別で見ると、「聞いたこともあったし活動も知っていた」で「70歳以上」、「聞いたことがなかった」で「30歳代以下」が多くなっています。

属性	区分	全体	聞いたこと			無回答
			聞いたことも知っていたし活動も知っていた	聞いたことはあったが活動は知らなかった	聞いたことがなかった	
総数	-	100.0	40.7	42.9	11.3	5.1
		671	273	288	76	34
年齢	20~29歳	100.0	-	33.3	66.7	-
		12	-	4	8	-
	30~39歳	100.0	16.2	40.5	37.8	5.4
		37	6	15	14	2
	40~49歳	100.0	26.8	54.9	16.9	1.4
		71	19	39	12	1
	50~59歳	100.0	37.6	45.9	14.1	2.4
	85	32	39	12	2	
60~69歳	100.0	36.7	53.2	4.6	5.5	
	109	40	58	5	6	
70歳以上	100.0	49.4	37.7	7.1	5.7	
	350	173	132	25	20	

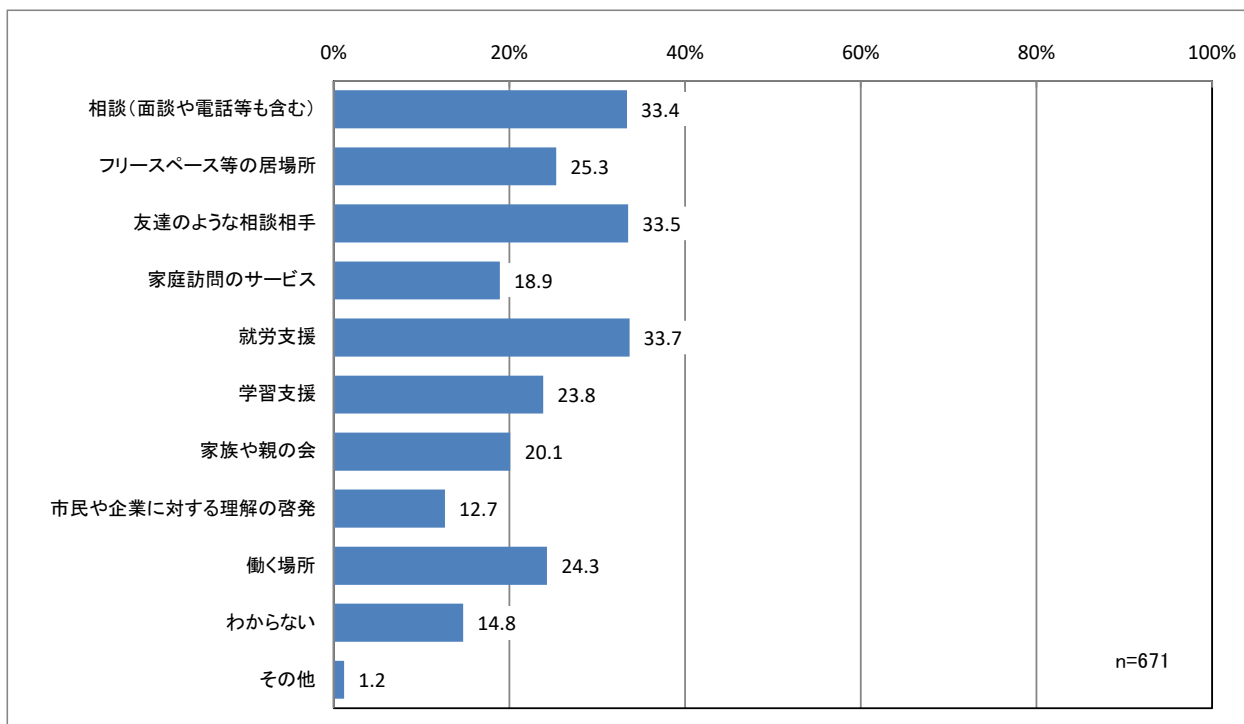
### 問24 民生委員・児童委員の活動として、今後、充実してほしいことがありますか。(複数回答)

「高齢者等の支援が必要な方に対する訪問活動」が 54.7%で最も多く、次いで「福祉に関する情報提供」42.8%、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」33.1%の順となっています。



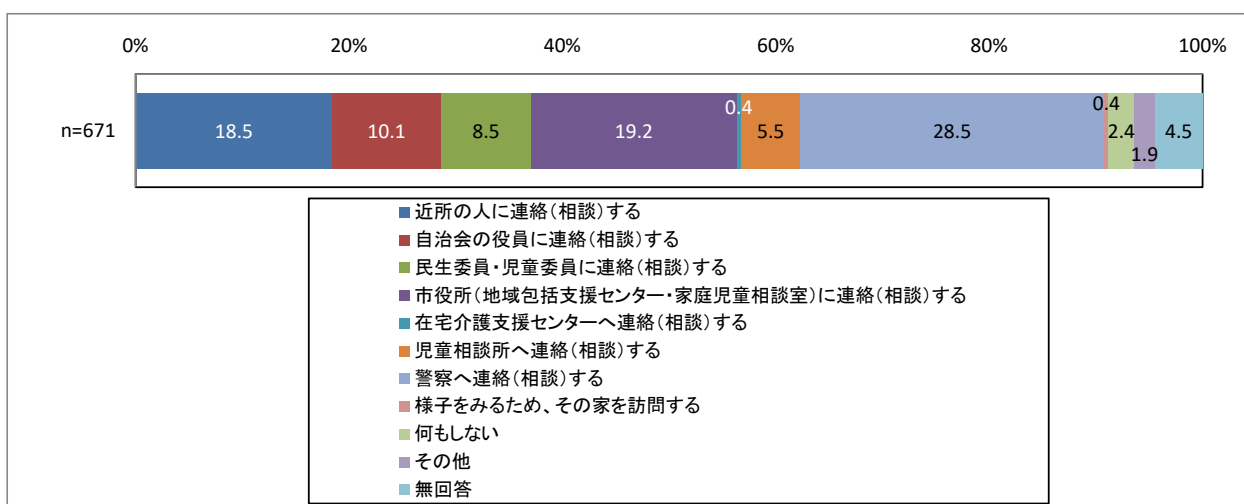
## 問25 ひきこもりの方を支援するため、どのような施策が重要だと思いますか。(複数回答)

「就労支援」が 33.7%で最も多く、次いで「友達のような相談相手」33.5%、「相談(面談や電話等も含む)」33.4%の順となっています。



## 問26 あなたの周囲で、虐待や暴力が発生していることが分かったら、最初にどのように対応しますか。

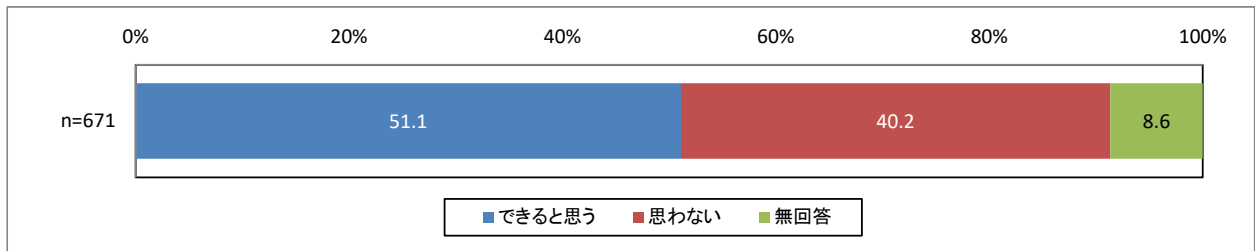
「警察へ連絡(相談)する」が 28.5%で最も多く、次いで「市役所(地域包括支援センター・家庭児童相談室)に連絡(相談)する」19.2%、「近所の人に連絡(相談)する」18.5%の順となっています。



## 5 災害時の避難について

問27 もし災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは適切に避難できると思いますか。

「できると思う」が 51.1%、「思わない」が 40.2%となっています。



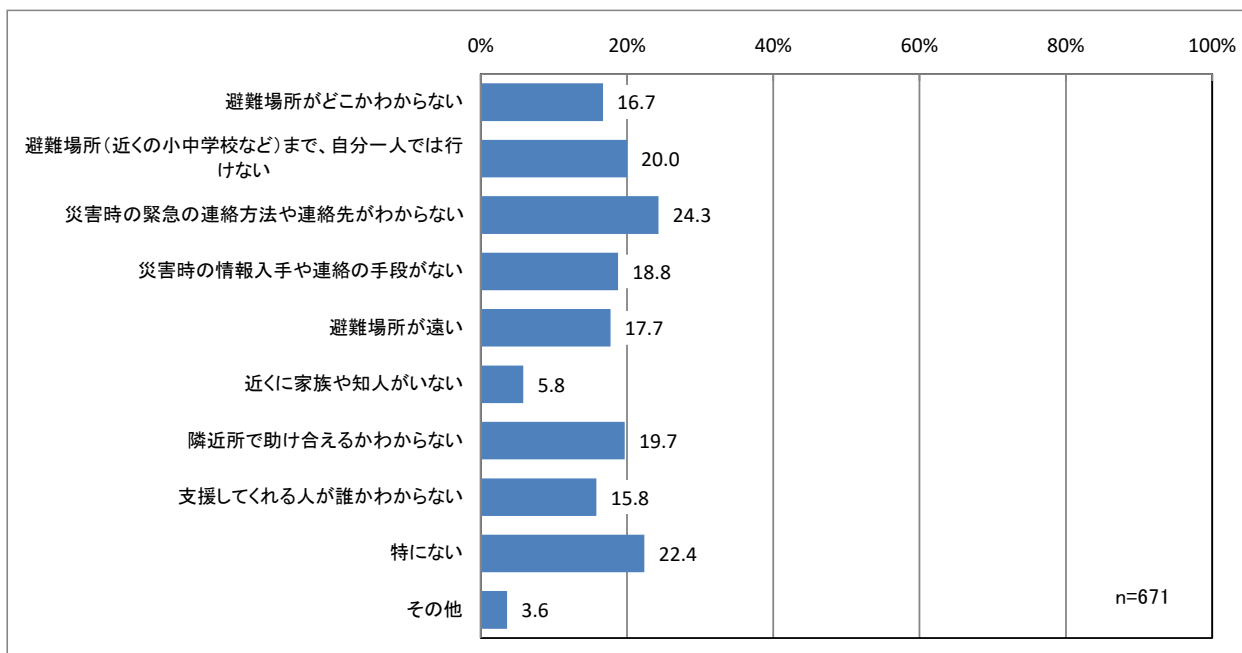
災害時の避難を性別でみると、「できないと思う」で女性が多くなっています。

年齢別では「できないと思う」で「20歳代」が多くなっています。

属性	区分	全体	割合 (%)		
			できると思う	思わない	無回答
総数	-	100.0	51.1	40.2	8.6
		671	343	270	58
性別	男性	100.0	60.5	31.8	7.7
		349	211	111	27
	女性	100.0	41.6	50.2	8.2
		305	127	153	25
	その他	100.0	-	66.7	33.3
		6	-	4	2
年齢	20～29歳	100.0	25.0	66.7	8.3
		12	3	8	1
	30～39歳	100.0	51.4	45.9	2.7
		37	19	17	1
	40～49歳	100.0	50.7	45.1	4.2
		71	36	32	3
	50～59歳	100.0	57.6	41.2	1.2
		85	49	35	1
60～69歳	100.0	64.2	31.2	4.6	
	109	70	34	5	
70歳以上	100.0	46.6	40.6	12.9	
	350	163	142	45	

## 問28 地震や台風などの災害発生時に、困ることは何ですか。(複数回答)

「災害時の緊急の連絡方法や連絡先がわからない」が 24.3%で最も多く、次いで「特にない」22.4%、「避難場所(近くの小中学校など)まで、自分一人では行けない」20.0%の順となっています。



災害時に困ることを性別で見ると、「避難場所がどこかわからない」「避難場所(近くの小中学校など)まで、自分一人では行けない」で女性が多くなっています。

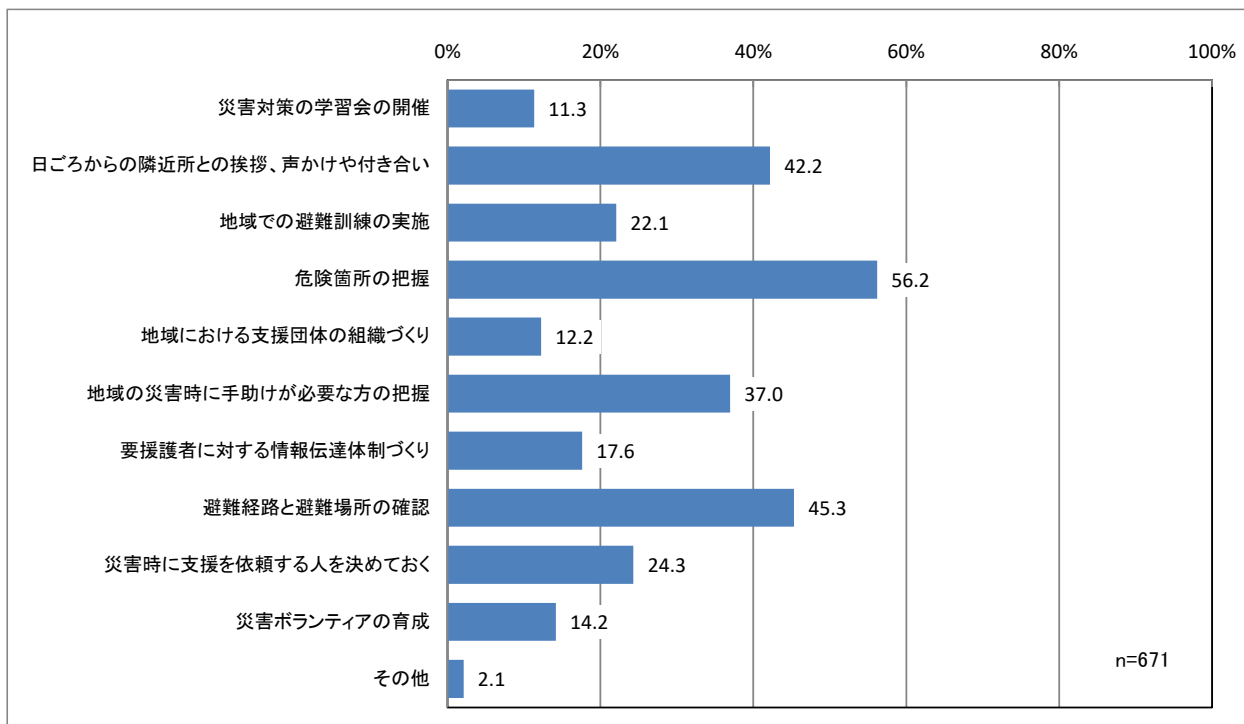
年齢別では「避難場所がどこかわからない」で「20歳代」、「避難場所(近くの小中学校など)まで、自分ひとりでは行けない」で「70歳以上」が多くなっています。

属性	区分	全体	避難場所がどこかわからない	避難場所(近くの小中学校など)まで、自分一人では行けない	災害時の緊急の連絡先がわからない	災害時の情報入手や連絡の手段がない	避難場所が遠い	近くに家族や知人がいない	隣近所で助け合えるかわからない	支援してくれる人が誰かわからない	特にない	その他
			割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
総数	-	100.0	16.7	20.0	24.3	18.8	17.7	5.8	19.7	15.8	22.4	3.6
		671	112	134	163	126	119	39	132	106	150	24
性別	男性	100.0	14.6	16.9	24.9	19.8	17.2	5.7	18.6	18.1	23.8	4.9
		349	51	59	87	69	60	20	65	63	83	17
	女性	100.0	19.7	24.3	24.6	18.7	18.0	5.6	21.3	13.4	21.3	2.3
		305	60	74	75	57	55	17	65	41	65	7
	その他	100.0	16.7	-	-	-	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	-
		6	1	-	-	-	2	1	2	2	1	-
年齢	20～29歳	100.0	50.0	-	25.0	-	8.3	-	8.3	-	25.0	8.3
		12	6	-	3	-	1	-	1	-	3	1
	30～39歳	100.0	29.7	2.7	21.6	8.1	16.2	5.4	21.6	13.5	24.3	-
		37	11	1	8	3	6	2	8	5	9	-
	40～49歳	100.0	7.0	1.4	23.9	16.9	12.7	2.8	26.8	21.1	25.4	5.6
		71	5	1	17	12	9	2	19	15	18	4
	50～59歳	100.0	10.6	9.4	18.8	20.0	16.5	3.5	17.6	16.5	22.4	8.2
		85	9	8	16	17	14	3	15	14	19	7
60～69歳	100.0	18.3	8.3	22.9	17.4	11.0	8.3	18.3	14.7	29.4	4.6	
	109	20	9	25	19	12	9	20	16	32	5	
70歳以上	100.0	16.9	32.3	26.6	21.1	21.7	6.3	19.4	15.7	19.4	2.0	
	350	59	113	93	74	76	22	68	55	68	7	



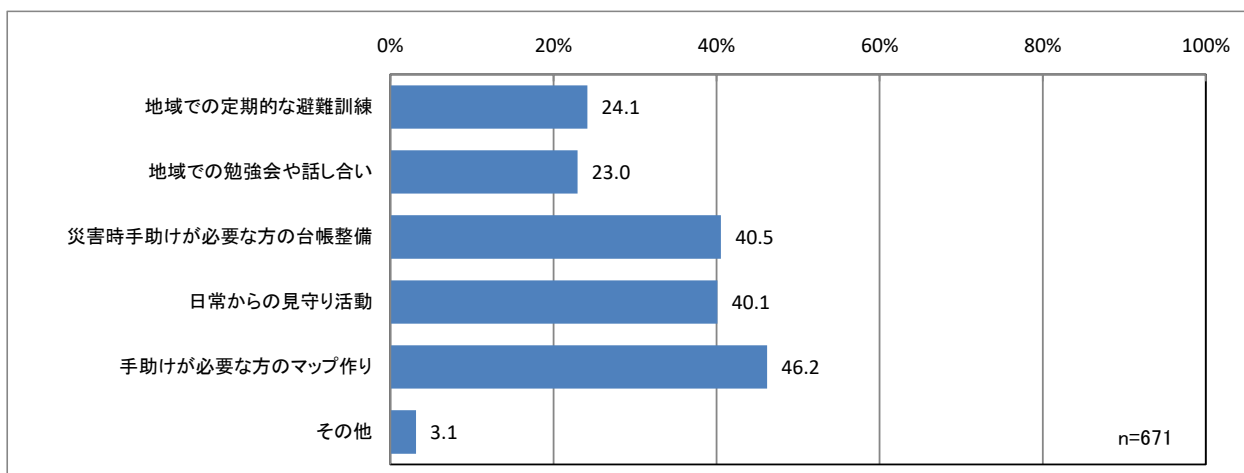
**問29 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。  
(複数回答)**

「危険箇所の把握」が 56.2%で最も多く、次いで「避難経路と避難場所の確認」45.3%、「日ごろからの隣近所との挨拶、声かけや付き合い」42.2%の順となっています。



**問30 災害時に住民が支えあう地域づくりに何が重要だと思いますか。(複数回答)**

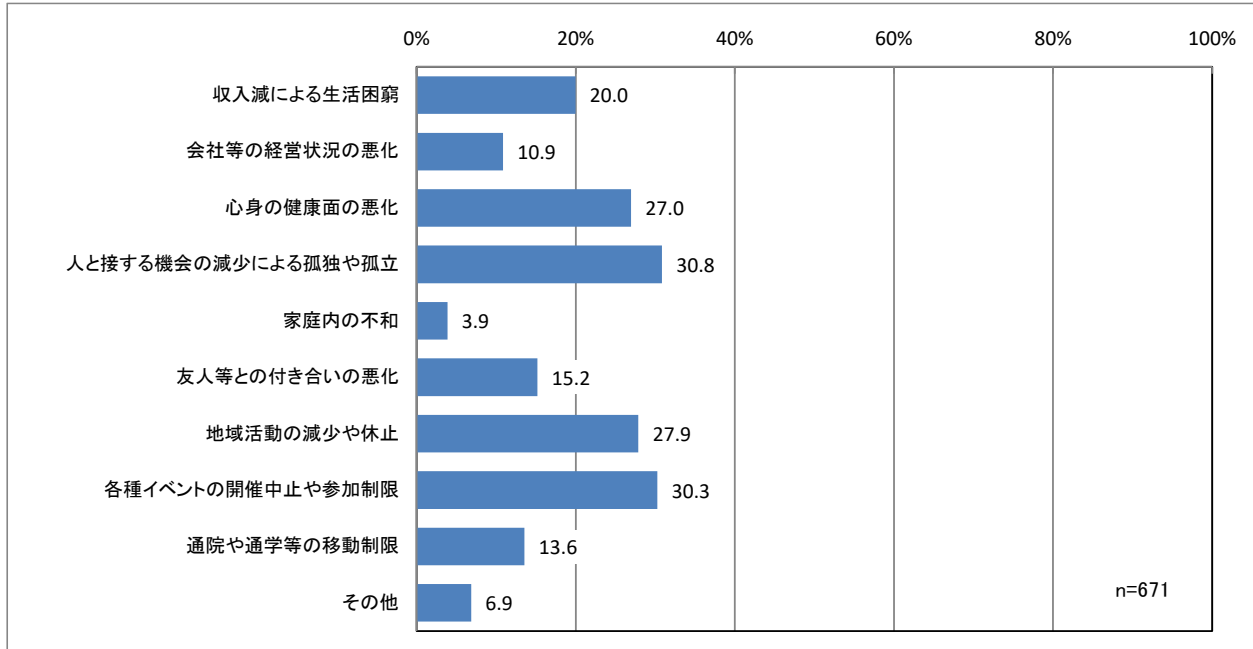
「手助けが必要な方のマップ作り」が 46.2%で最も多く、次いで「災害時手助けが必要な方の台帳整備」40.5%、「日常からの見守り活動」40.1%の順となっています。



## 6 コロナ禍における暮らしについて

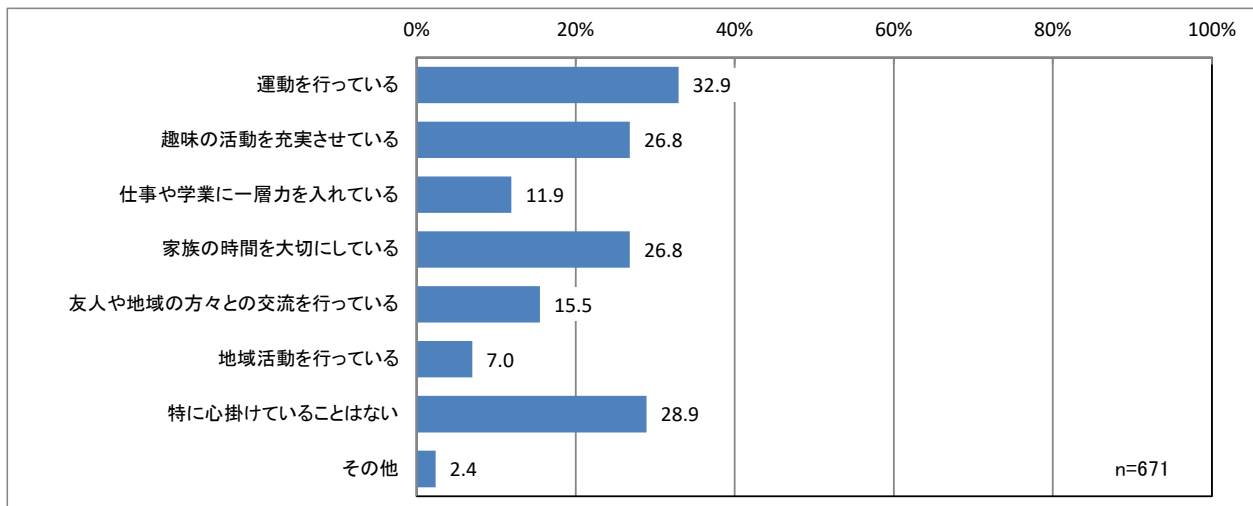
### 問31 コロナ禍で困っていることは、どのようなことですか。(複数回答)

「人と接する機会の減少による孤独や孤立」が 30.8%で最も多く、次いで「各種イベントの開催中止や参加制限」30.3%、「地域活動の減少や休止」27.9%の順となっています。



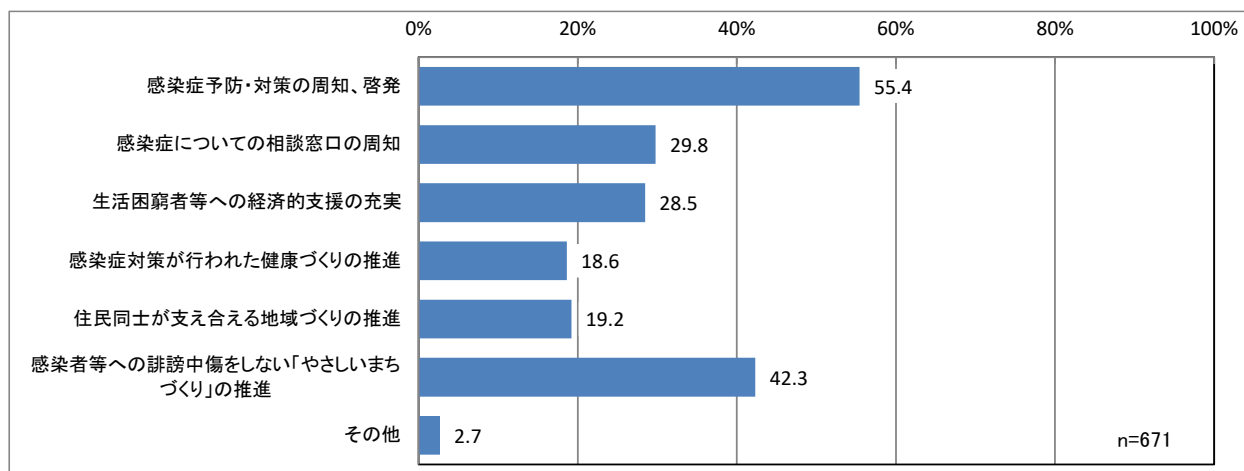
### 問32 コロナ禍でも気力や体力が低下しないために心がけていることがありますか。(複数回答)

「運動を行っている」が 32.9%で最も多く、次いで「特に心掛けていることはない」28.9%、「趣味の活動を充実させている」「家族の時間を大切にしている」26.8%の順となっています。



問33 コロナ禍での困りごとや不安を解消するために、あなたが大切だと思うことは何ですか。  
(複数回答)

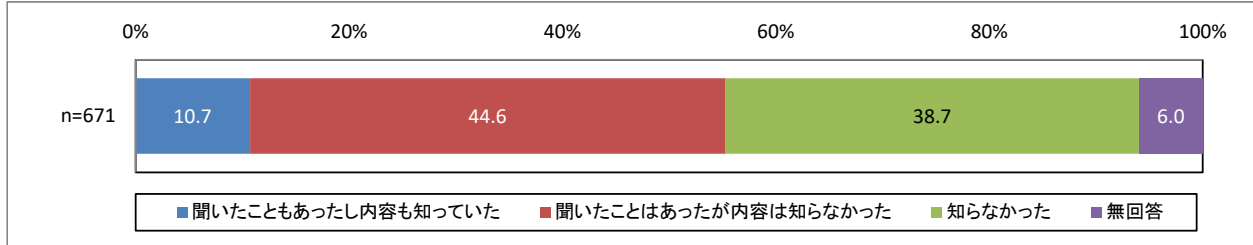
「感染症予防・対策の周知、啓発」が 55.4%で最も多く、次いで「感染者等への誹謗中傷をしない「やさしいまちづくり」の推進」42.3%、「感染症についての相談窓口の周知」29.8%の順となっています。



## 7 生活困窮者の自立支援について

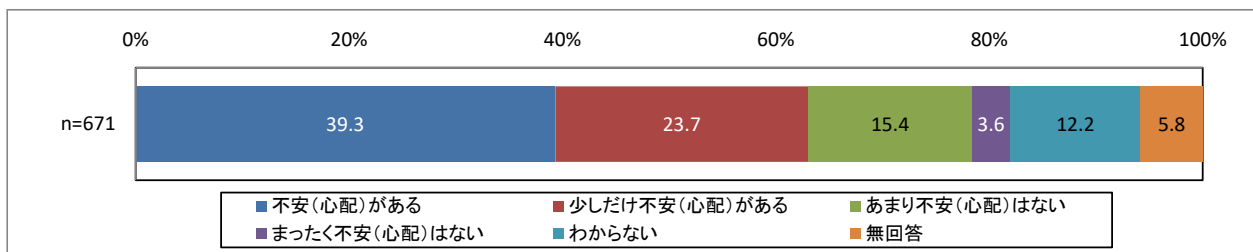
### 問34 生活困窮者自立支援法(制度)について、あなたは知っていましたか。

「聞いたことはあったが内容は知らなかった」が 44.6%で最も多く、次いで「知らなかった」38.7%、「聞いたこともあったし内容も知っていた」10.7%の順となっています。



### 問35 あなたの生活状況が急変し、生活費に困るようなことになったとして、あなたが相談で市役所もしくは社会福祉協議会に行くことになったとしたら、なにかしら不安を感じますか。

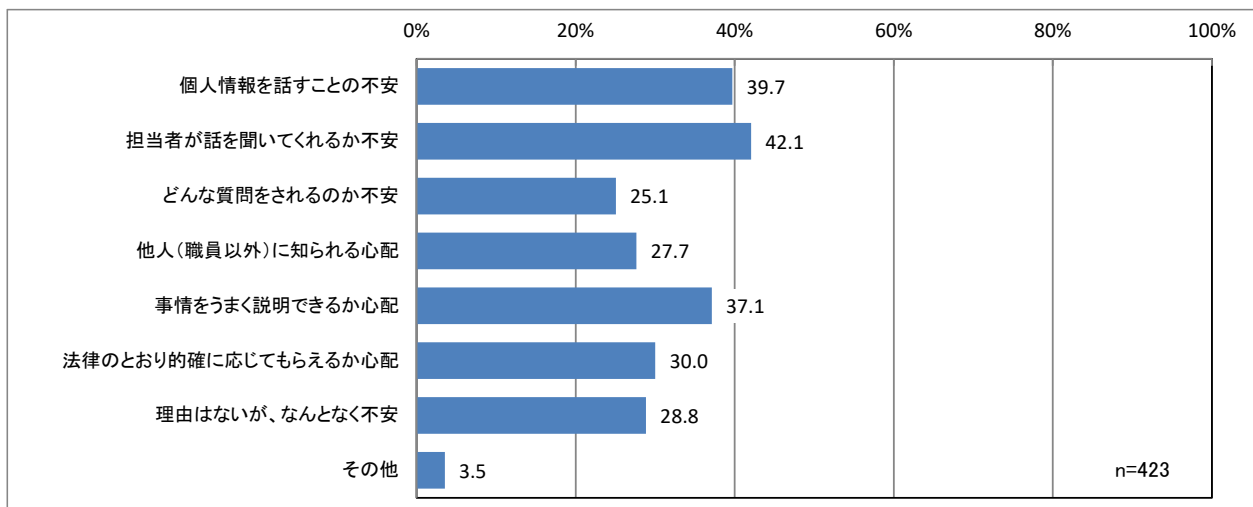
「不安(心配)がある」が 39.3%で最も多く、次いで「少しだけ不安(心配)がある」23.7%、「あまり不安(心配)はない」15.4%の順となっています。



問35で「1. 不安(心配)がある」「2. 少しだけ不安(心配)がある」と回答した方におうかがいします。

#### 問35-1 どんな不安や心配がありますか。(複数回答)

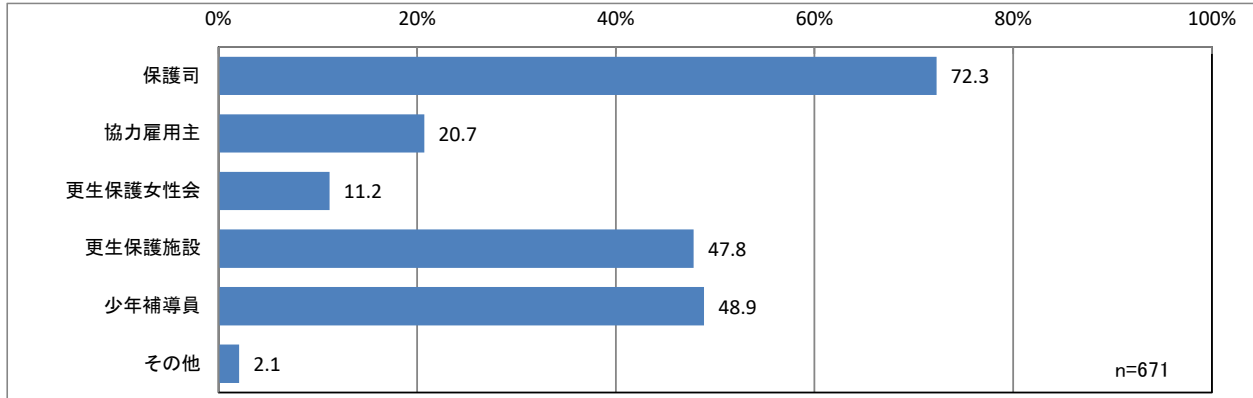
「担当者が話を聞いてくれるか不安」が 42.1%で最も多く、次いで「個人情報話すことの不安」39.7%、「事情をうまく説明できるか心配」37.1%の順となっています。



## 8 地域における再犯防止について

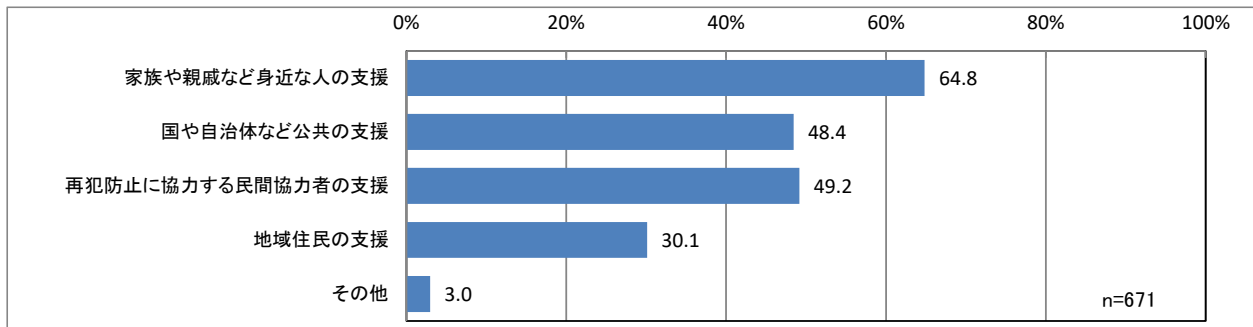
問36 あなたは、犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすることに協力する民間協力者として次の方々がいることを知っていますか。(複数回答)

「保護司」が 72.3%で最も多く、次いで「少年補導員」48.9%、「更生保護施設」47.8%の順となっています。



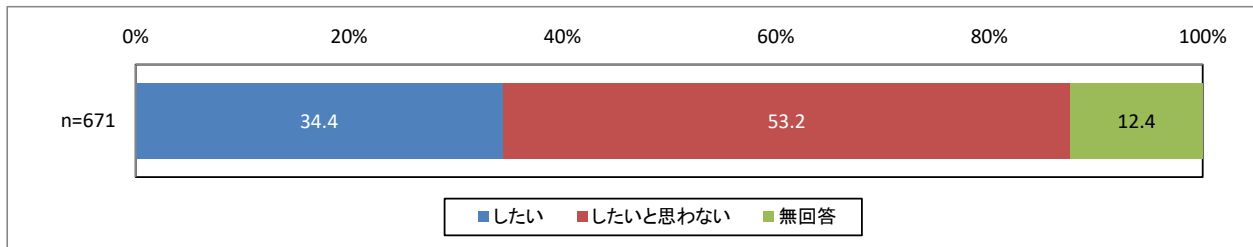
問37 再犯防止(犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすること)のために必要だと思うことは何ですか。(複数回答)

「家族や親戚など身近な人の支援」が 64.8%で最も多く、次いで「再犯防止に協力する民間協力者の支援」49.2%、「国や自治体など公共の支援」48.4%の順となっています。



問38 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

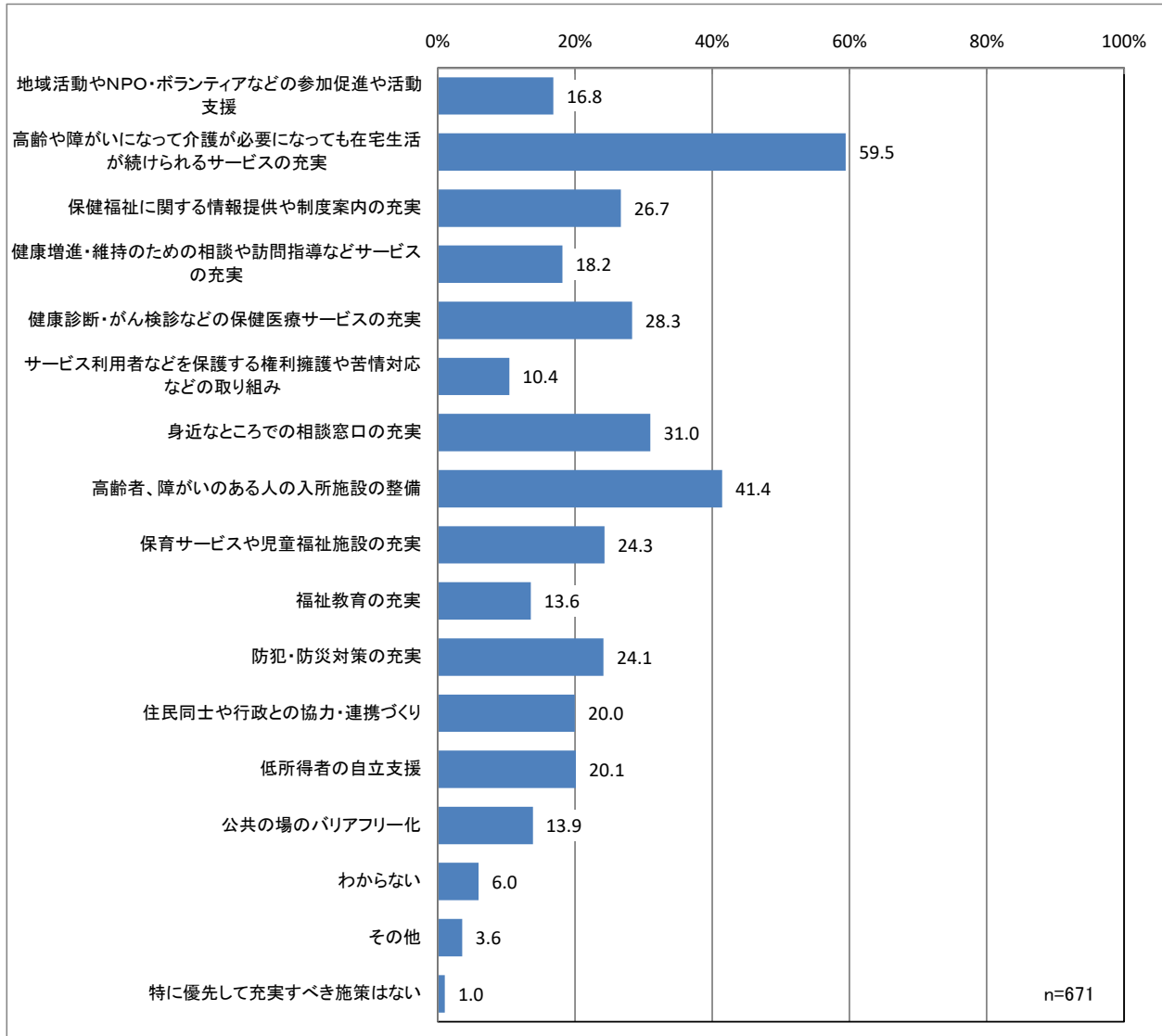
「したい」が 34.4%、「したいと思わない」が 53.2%となっています。



## 9 今後の地域福祉のあり方について

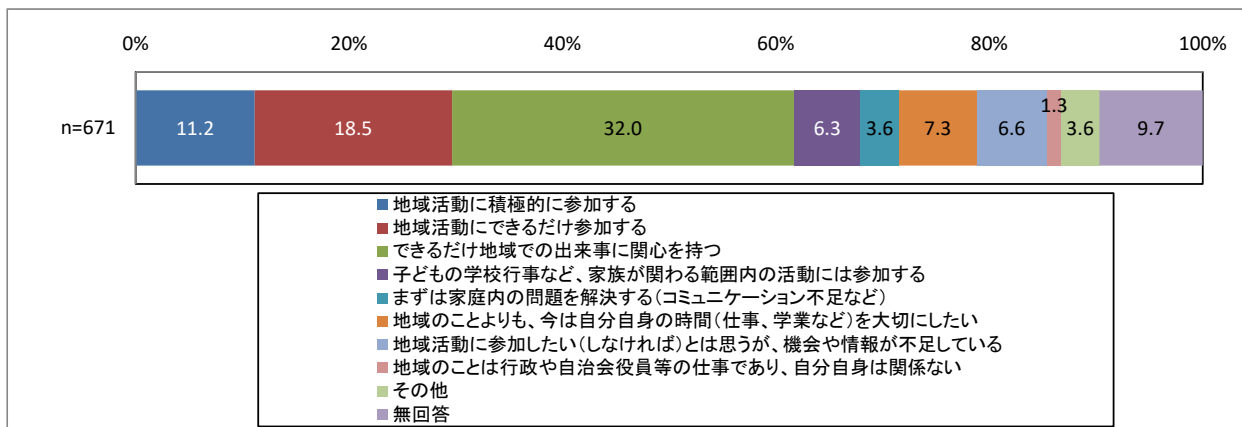
問39 今後、宮若市が取り組むべき施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(複数回答)

「高齢や障がいになって介護が必要になっても在宅生活が続けられるサービスの充実」が 59.5%で最も多く、次いで「高齢者、障がいのある人の入所施設の整備」41.4%、「身近なところでの相談窓口の充実」31.0%の順となっています。



問40 住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、住民としてあなたができることはどんなことがあるとお考えですか。

「できるだけ地域での出来事に関心を持つ」が 32.0%で最も多く、次いで「地域活動にできるだけ参加する」18.5%、「地域活動に積極的に参加する」11.2%の順となっています。



住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにできることを性別でみると、「地域活動に積極的に参加する」で男性、「子どもの学校行事など、家族が関わる範囲内の活動には参加する」で女性が多くなっています。

年齢別では「地域のことよりも、今は自分自身の時間(仕事、学業など)を大切にしたい」で「20歳代」、「子どもの学校行事など、家族が関わる範囲内の活動には参加する」で「40歳代以下」、「地域活動にできるだけ参加する」で「50歳代以上」、「地域活動に参加したい(しなければ)とは思いますが、機会や情報が不足している」で「60歳代」、「地域活動に積極的に参加する」で「70歳以上」が多くなっています。

属性	区分	全体	地域活動に積極的に参加する	地域活動にできるだけ参加する	できるだけ地域での出来事に関心を持つ	子どもの学校行事など、家族が関わる範囲内の活動には参加する	まずは家庭内の問題を解決する(コミュニケーション不足など)	地域のことよりも、今は自分自身の時間(仕事、学業など)を大切にしたい	地域活動に参加したい(しなければ)とは思いますが、機会や情報が不足している	地域のことは行政や自治会役員等の仕事であり、自分自身は関係ない	その他	無回答
総数	-	100.0	11.2	18.5	32.0	6.3	3.6	7.3	6.6	1.3	3.6	9.7
		671	75	124	215	42	24	49	44	9	24	65
性別	男性	100.0	15.2	18.3	31.2	3.4	3.7	7.2	7.2	2.0	2.6	9.2
		349	53	64	109	12	13	25	25	7	9	32
	女性	100.0	6.6	19.7	33.8	9.2	3.0	7.5	5.9	0.3	4.6	9.5
		305	20	60	103	28	9	23	18	1	14	29
その他		100.0	-	-	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-
		6	-	-	1	2	1	1	-	-	1	-
年齢	20~29歳	100.0	-	-	8.3	41.7	-	33.3	8.3	8.3	-	-
		12	-	-	1	5	-	4	1	1	-	-
	30~39歳	100.0	5.4	5.4	27.0	35.1	10.8	2.7	13.5	-	-	-
		37	2	2	10	13	4	1	5	-	-	-
	40~49歳	100.0	9.9	8.5	35.2	21.1	5.6	7.0	2.8	1.4	2.8	5.6
		71	7	6	25	15	4	5	2	1	2	4
	50~59歳	100.0	5.9	21.2	35.3	4.7	5.9	14.1	7.1	1.2	1.2	3.5
	85	5	18	30	4	5	12	6	1	1	3	
60~69歳	100.0	12.8	22.9	36.7	0.9	3.7	7.3	10.1	0.9	1.8	2.8	
	109	14	25	40	1	4	8	11	1	2	3	
70歳以上	100.0	13.1	20.9	30.9	0.9	1.7	5.4	5.1	1.4	5.4	15.1	
	350	46	73	108	3	6	19	18	5	19	53	

## 10 自由意見

問41 誰もが住みよい地域づくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください

小学校区	年齢	性別	自由意見
宮田南	30 歳代	女性	介護が必要になった方、障がい者など福祉の充実には自分事として考えられるかが必要で、実際にどんなサービスが必要なのかという視点を持つことが重要になってくると思うので、そういう体験を子供のうちからしていく事や知る事が大切だと思います。
宮田南	30 歳代	女性	住みやすい地域になるよう、励んで下さっている事に感謝致します。一人一人の意識でずいぶん変わっていくと思います。助けを必要としている方々、沢山いらっしやると思います。ぜひ寄り添って少しでも安心できる様に貴重な命が失われないように、私自身も意識する事は大切だと感じました。
宮田南	50 歳代	女性	災害への対策、訓練、情報提供が必要。車がなくても生活できる移動手段や買い物代行などのサービス、高齢者への支援、在宅介護を希望する人や家族への支援、サービスを増やして欲しいです。
宮田北	70 歳以上	男性	家庭内での困り事を相談出来る様な地域活動をしてもらいたい。たとえ小さな問い合わせにも聞く耳を持って対処して欲しい。例えば障子が破れたとか、戸が閉まらないとか色々あります。何でも相談し合える方が居てくれたらいいな。
宮田北	70 歳以上	女性	区、または組合など小さな組織から離れない事。地域が基礎だと思います。
光陵	50 歳代	男性	困っている方々に手厚い支援を行政からしてあげて頂きたい。金銭面や活動・行動など手助けをしてあげて欲しい。
光陵	50 歳代	女性	人とのつながりも大切だが、他人とあまり関わりたくない。でも生活が困難になった時、自宅で支援して頂ける様なサービスが増えてくれるとありがたい。
光陵	70 歳以上	女性	地域の人と会った場合、地域の出来事を話して仲良くする事が大切だと思います。あまり分からなくてすみません。
光陵	70 歳以上	不明	多々あるが人の心の優しさ。又その人が何を思っているか言葉の理解。思いやりの人が多くいる市民に。
旧若宮	20 歳代	女性	子どもが遊べる場所や勉強できるところを増やしてほしいです。みんなが気軽に集まれるような場があると地域の人が、相談などできると思います。
旧若宮	50 歳代	男性	今後ますます高齢化社会になるので高齢になっても安心して住める地域にして欲しい。
旧若宮	60 歳代	男性	自治会活動が高齢化の為、次第に衰退している。自治会加入率を高めるように努めて若い人が積極的に参加できるように人材の育成をしていく必要がある。
旧若宮	60 歳代	男性	特に高齢者に対する福祉の充実を必要と考える。高齢者と周りの人（家族を含む）との関わりの必要性を感じる。
旧若宮	70 歳以上	女性	ボランティアや地域活動に参加したいと思っても仕事があるので参加できない人達がほとんどです。夜でも活動できる事や時間が自由な活動があれば良い。
旧若宮西	60 歳代	男性	あらゆる面で安心して子供を育てられる地域づくりをして欲しい



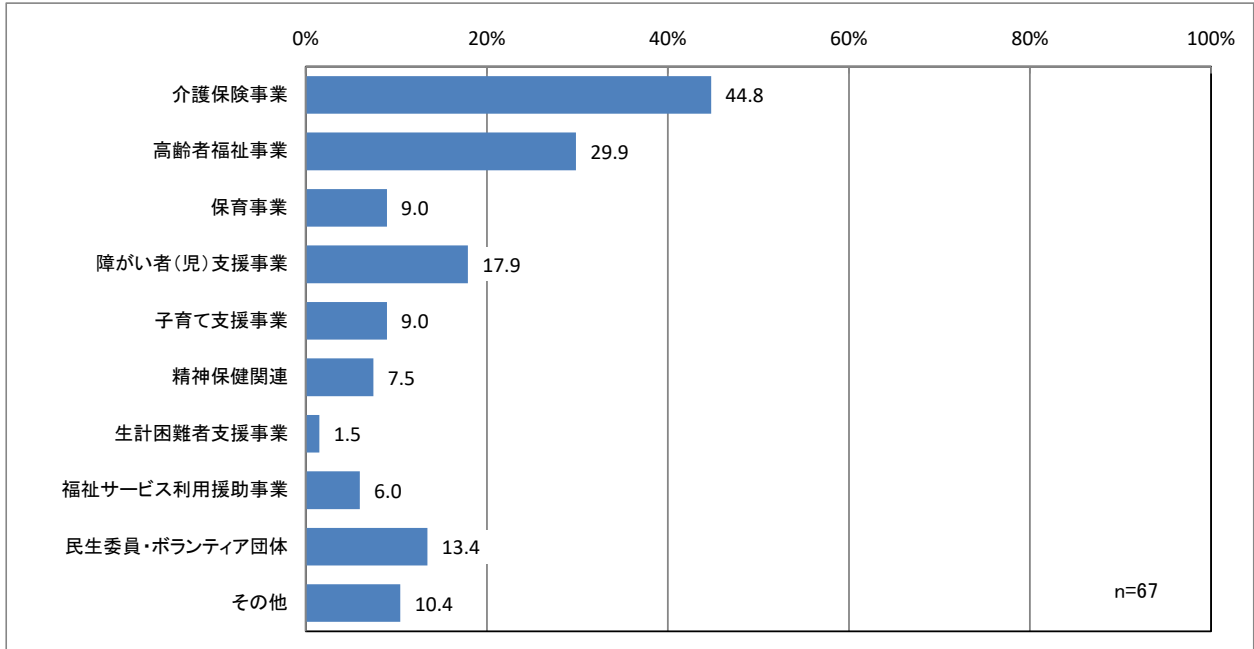
### Ⅲ 地域福祉計画に関する団体・事業者アンケート調査



# 1 貴団体について

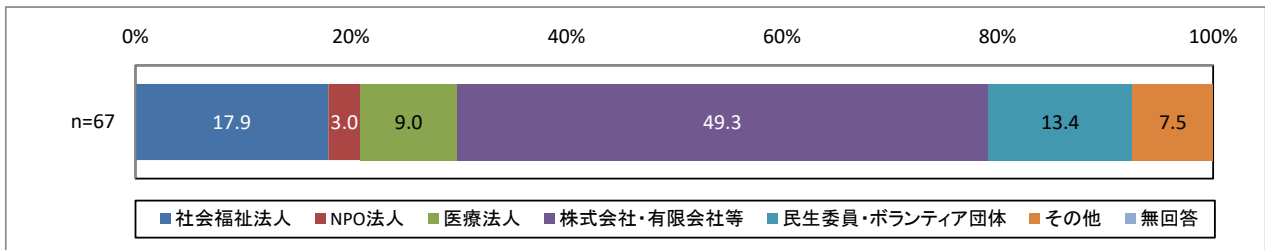
## 問1 貴団体の活動分野は次のうちどれですか。(複数回答)

「介護保険事業」が 44.8%で最も多く、次いで「高齢者福祉事業」29.9%、「障がい者(児)支援事業」17.9%の順となっています。



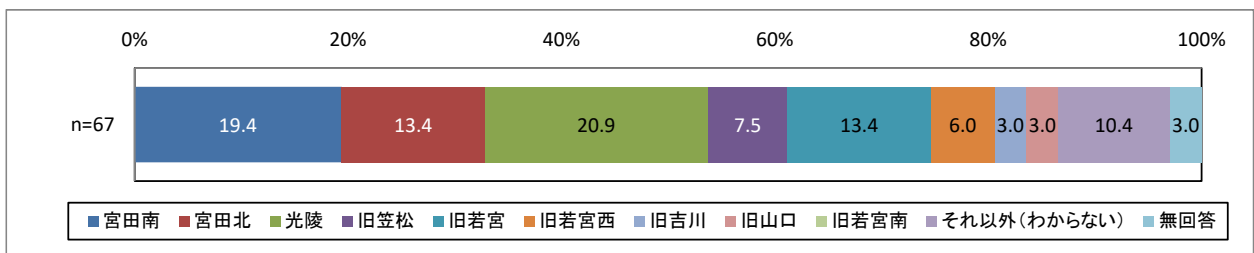
## 問2 貴団体の区分(形態)は次のうちどれですか。

「株式会社・有限会社等」が 49.3%で最も多く、次いで「社会福祉法人」17.9%、「民生委員・ボランティア団体」13.4%の順となっています。



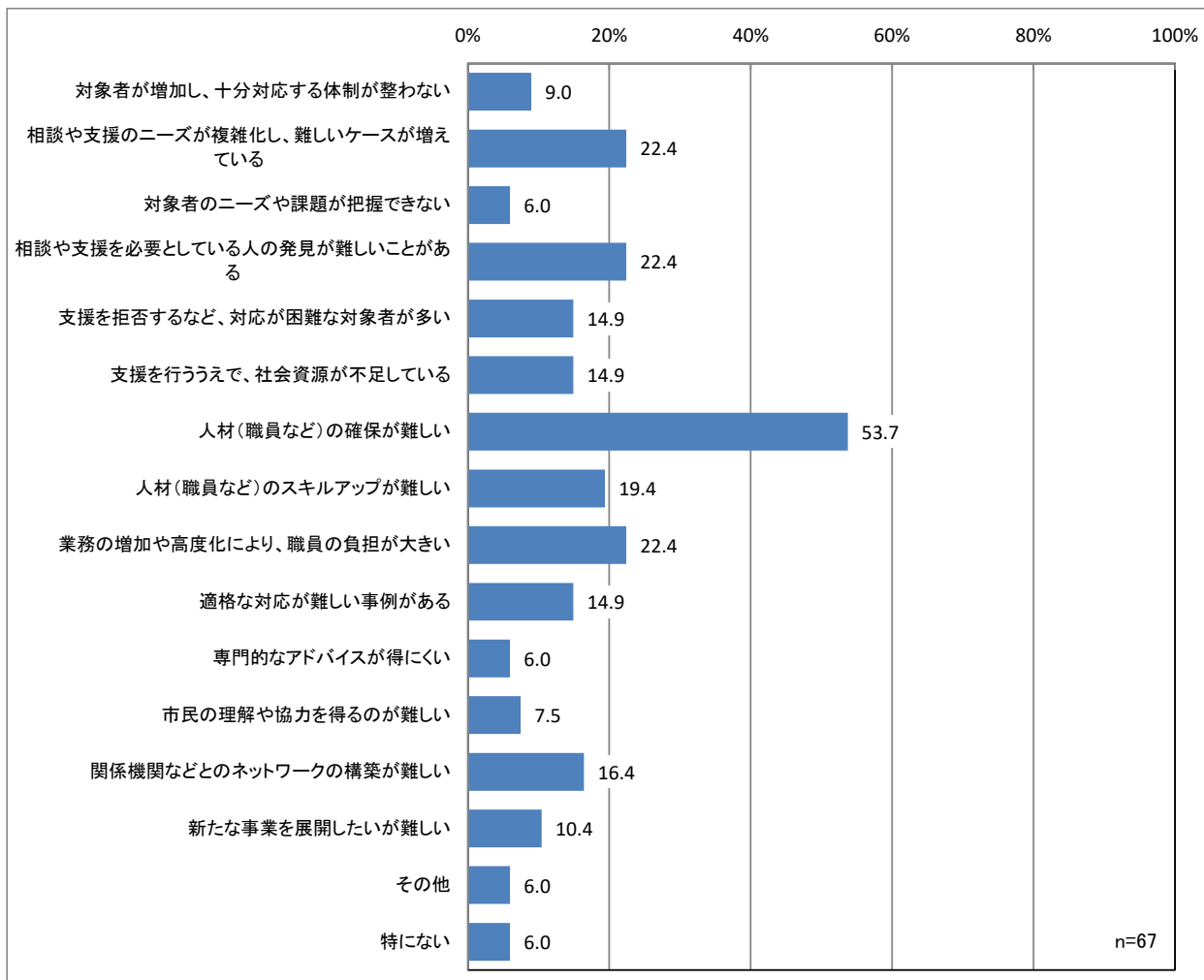
## 問3 貴団体はどの小学校区にありますか。

「光陵」が 20.9%で最も多く、次いで「宮田南」19.4%、「宮田北」「旧若宮」13.4%の順となっています。



#### 問4 活動する上で、どのような課題がありますか。(複数回答)

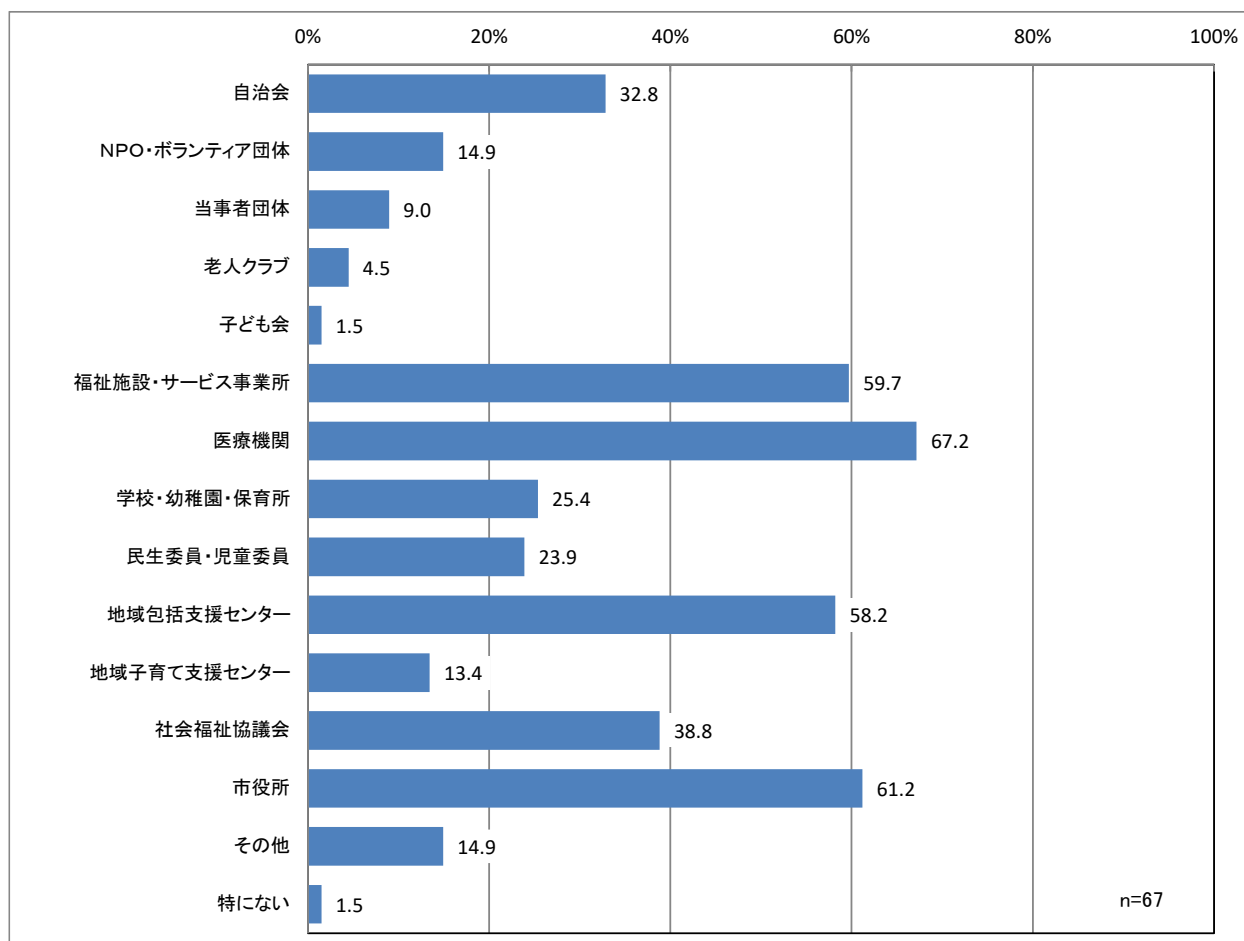
「人材(職員など)の確保が難しい」が 53.7%で最も多く、次いで「相談や支援のニーズが複雑化し、難しいケースが増えている」「相談や支援を必要としている人の発見が難しいことがある」「業務の増加や高度化により、職員の負担が大きい」22.4%、「人材(職員など)のスキルアップが難しい」19.4%の順となっています。



## 2 他の団体や機関との連携について

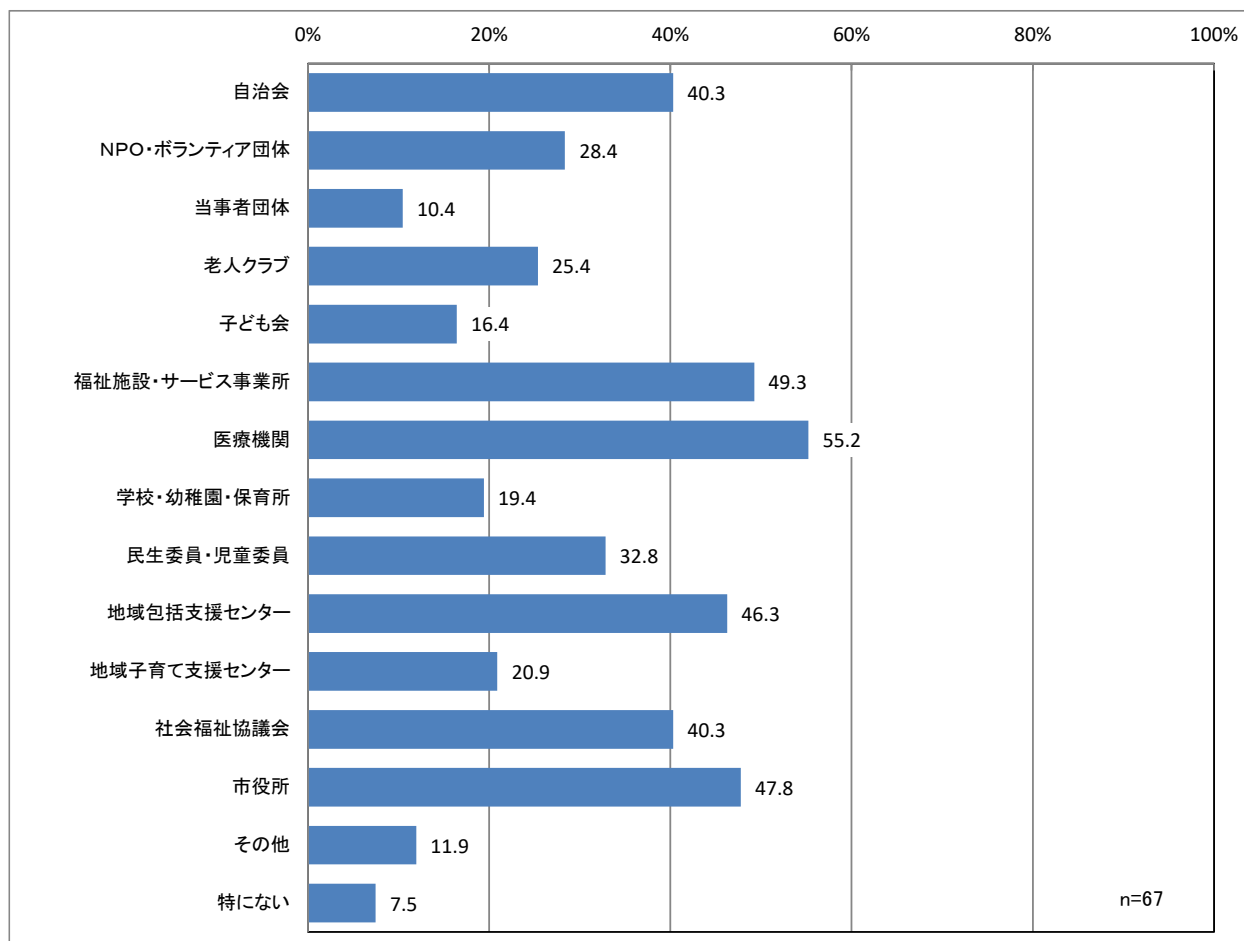
### 問5 活動する上で、どのような団体や機関と連携していますか。(複数回答)

「医療機関」が 67.2%で最も多く、次いで「市役所」61.2%、「福祉施設・サービス事業所」59.7%の順となっています。



問6 今後、さらに連携していきたい団体や機関(現在連携している団体や機関も含む)はありますか。(複数回答)

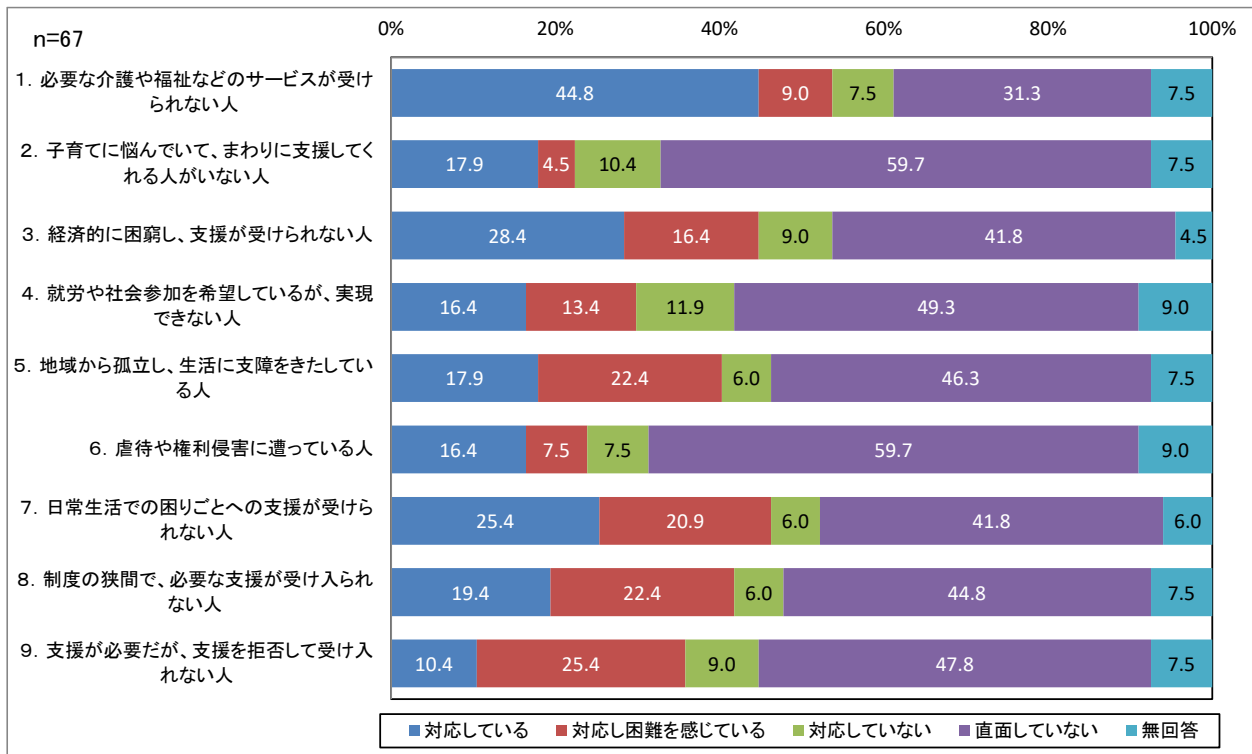
「医療機関」が 55.2%で最も多く、次いで「福祉施設・サービス事業所」49.3%、「市役所」47.8%の順となっています。



問7 活動の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応(相談や支援、予防のための取組など)をすることがありますか。また、対応に関し困難を感じているものがありますか。

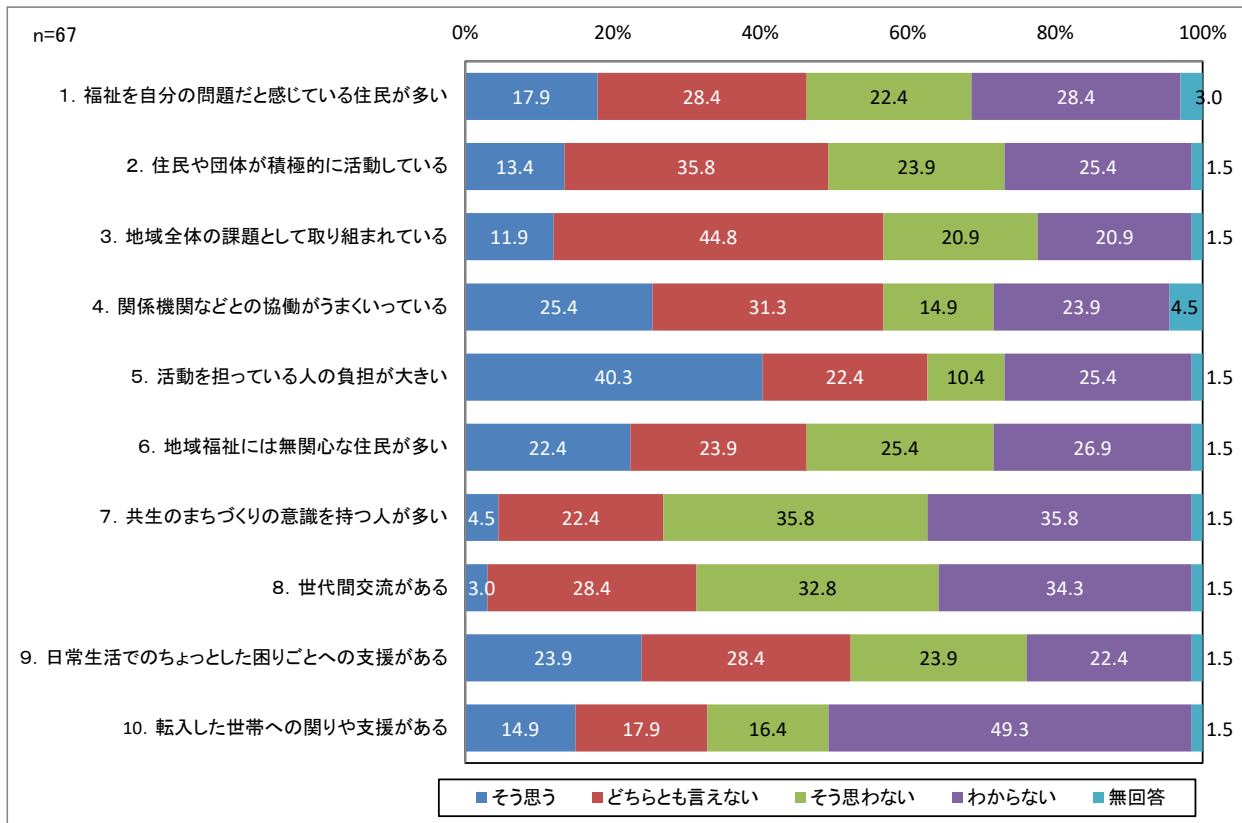
対応している人では、「1. 必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」が 44.8%で最も多く、次いで「3. 経済的に困窮し、支援が受けられない人」28.4%、「7. 日常生活での困りごとへの支援が受けられない人」25.4%の順となっています。

対応に関し困難を感じている人では、「9. 支援が必要だが、支援を拒否して受け入れない人」が 25.4%で最も多く、次いで「5. 地域から孤立し、生活に支障をきたしている人」「8. 制度の狭間で、必要な支援が受け入れられない人」22.4%、「7. 日常生活での困りごとへの支援が受けられない人」20.9%の順となっています。



**問8 地域福祉の推進(地域での支え合いなど)に関し、地域の状況についてどのように思いますか。**

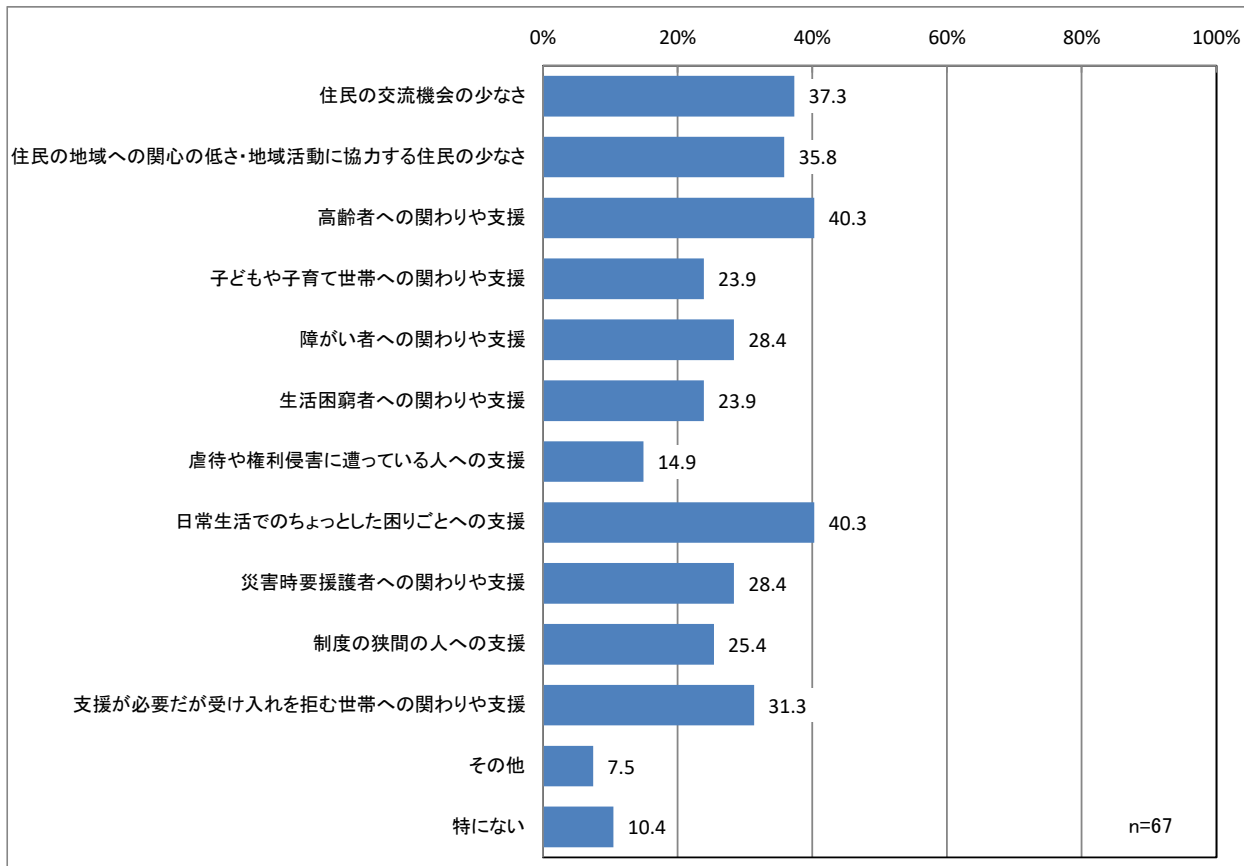
地域福祉の推進に関し、地域の状況についてどう思うかでは、「5. 活動を担っている人の負担が大きい」が40.3%で最も多く、次いで「4. 関係機関などとの協働がうまくいっている」25.4%、「9. 日常生活でのちょっとした困りごとへの支援がある」23.9%の順となっています。





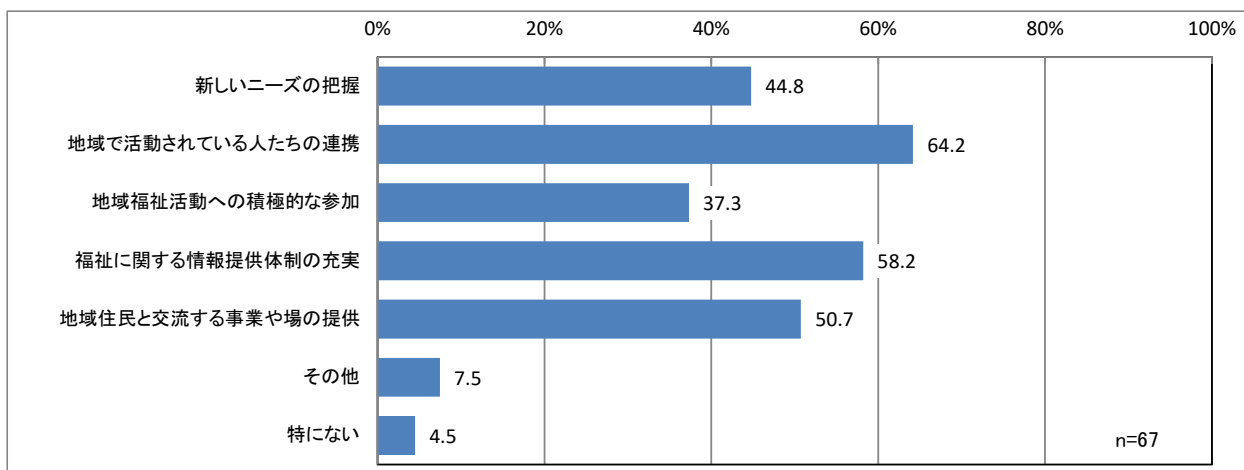
**問9 活動を通じて、市民の日常生活上のどのような課題や問題があると感じていますか。**  
(複数回答)

「高齢者への関わりや支援」「日常生活でのちょっとした困りごとへの支援」が 40.3%で最も多く、次いで「住民の交流機会の少なさ」37.3%、「住民の地域への関心の低さ・地域活動に協力する住民の少なさ」35.8%の順となっています。



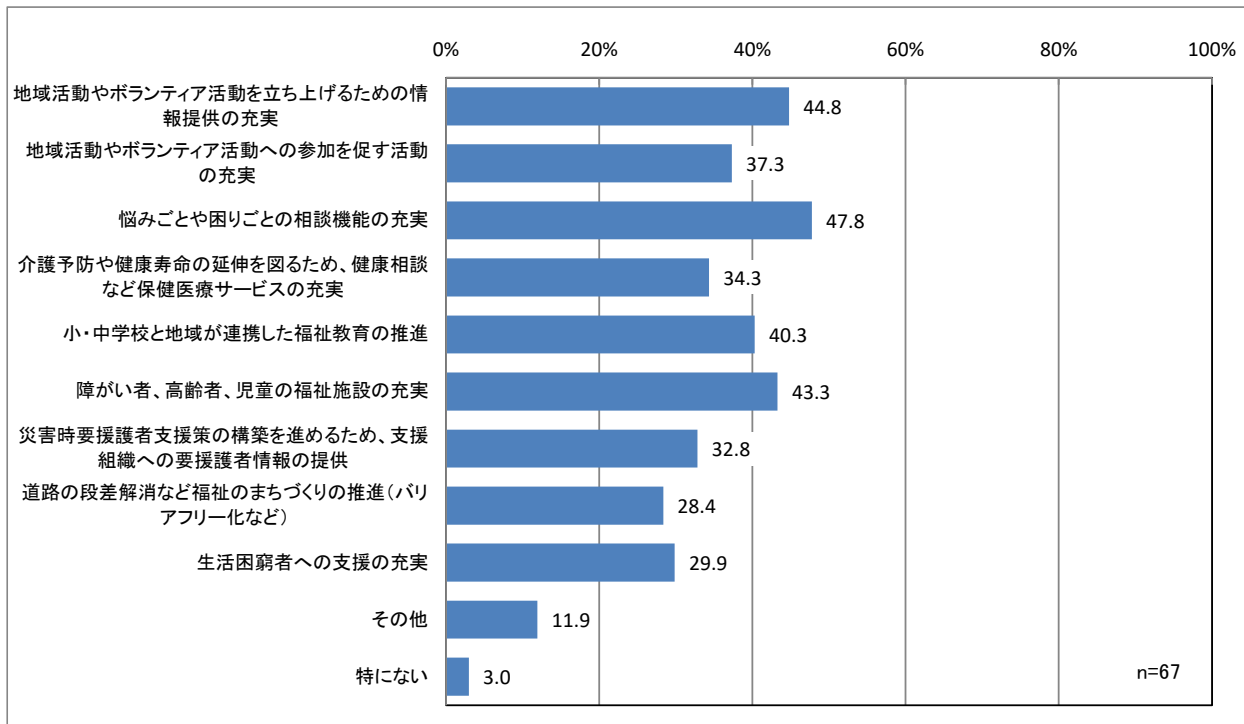
**問10 地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことは何ですか。(複数回答)**

「地域で活動されている人たちの連携」が 64.2%で最も多く、次いで「福祉に関する情報提供体制の充実」58.2%、「地域住民と交流する事業や場の提供」50.7%の順となっています。



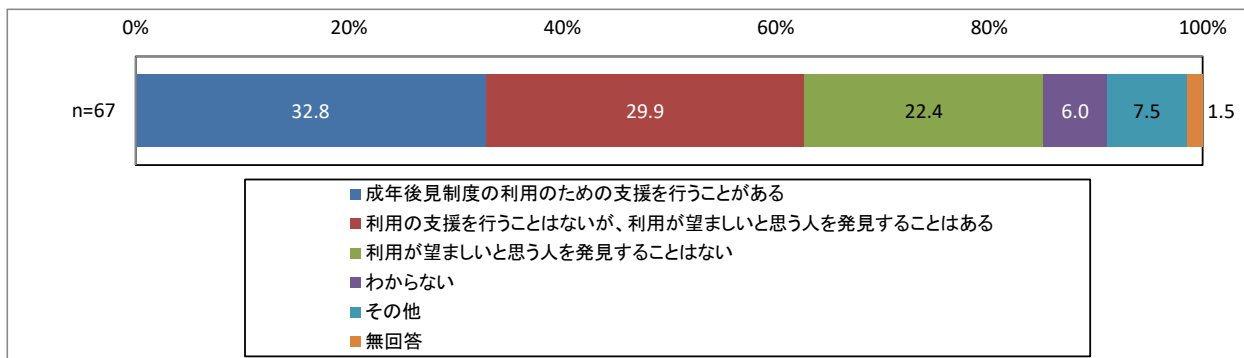
**問 11 地域活動を活性化するために、市や社会福祉協議会が取り組むべきだと思うことは何ですか。(複数回答)**

「悩みごとや困りごとの相談機能の充実」が 47.8%で最も多く、次いで「地域活動やボランティア活動を立ち上げるための情報提供の充実」44.8%、「障がい者、高齢者、児童の福祉施設の充実」43.3%の順となっています。



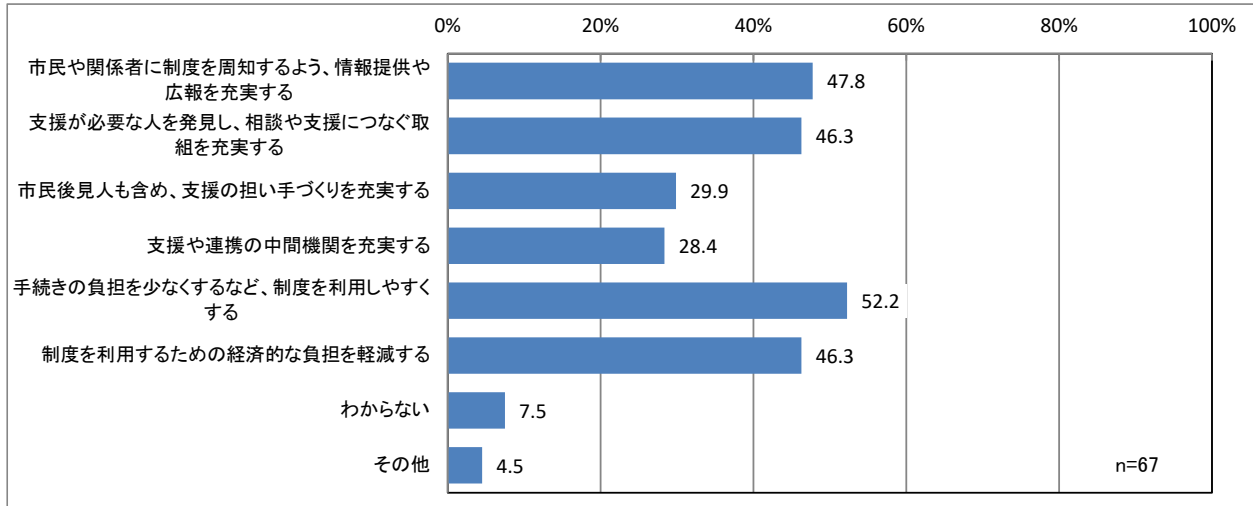
**問 12 活動を通じて、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることがありますか。**

「成年後見制度の利用のための支援を行うことがある」が 32.8%で最も多く、次いで「利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」29.9%、「利用が望ましいと思う人を発見することはない」22.4%の順となっています。



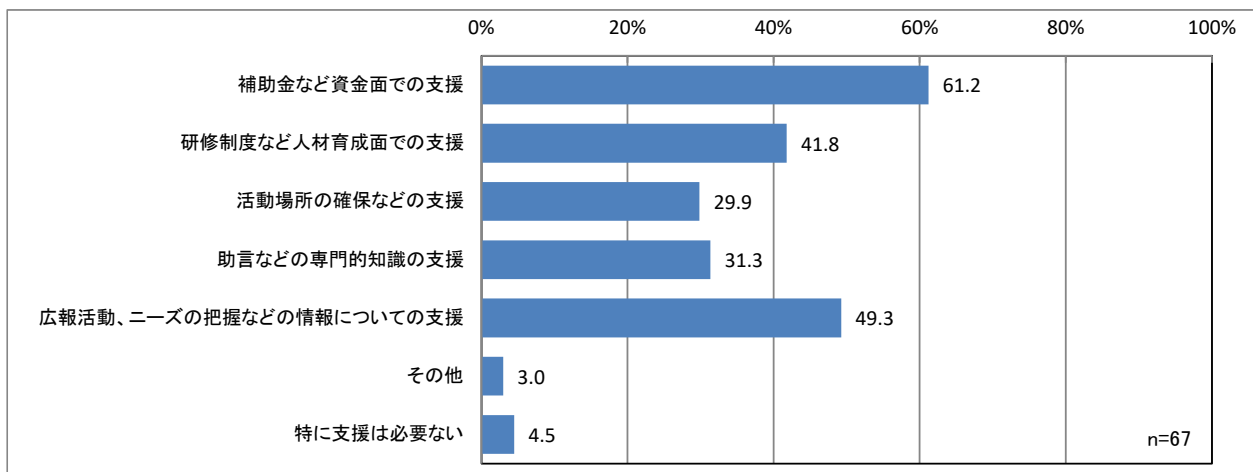
**問13 成年後見制度の利用を促進するうえで、優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(複数回答)**

「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が52.2%で最も多く、次いで「市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する」47.8%、「支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する」46.3%、「支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する」「制度を利用するための経済的な負担を軽減する」46.3%の順となっています。



**問14 貴団体が地域福祉を推進するうえで必要だと思う支援は何ですか。(複数回答)**

「補助金など資金面での支援」が61.2%で最も多く、次いで「広報活動、ニーズの把握などの情報についての支援」49.3%、「研修制度など人材育成面での支援」41.8%の順となっています。



### 3 自由意見

問15 「新型コロナウイルス感染症」の影響により、日頃の地域福祉活動において、工夫していること、または意識の変化や新たな発見があればお書きください。

「新型コロナウイルス感染症」の影響により、工夫していること、または意識の変化や新たな発見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を細々とでも続けていくことが次の一歩へとつながると思います。</li> <li>・コロナ前の活動が充実していたことを実感します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の徹底</li> <li>・体調管理優先の意識をもつようになった</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク着用の徹底</li> <li>・アルコール消毒を持ち歩き、業務が終わるごとに手指消毒をする</li> <li>・自己管理（健康管理をしてもらう）</li> <li>・体調不良時は休みをとる</li> </ul>
意識の変化としては、換気等はよりするようになったかと思います。使った物の消毒、布製品のものは洗濯（水洗い等）の回数を増やした。
感染症ガイドラインや感染症発生時対応マニュアルを作成し、発生初期から中・後期と各対応手順を文書化し、全職員に周知している
検温、消毒、マスク着用、換気など感染リスクを下げるための内容を徹底し続け習慣化することができるようになりました。また、その日のご利用者の対象をしっかりと確認、把握することで、ちょっとした日々の変化に気が付きやすくなり、ご家族などへの連絡、連携がはやくできるようになりました。コロナウイルスに関わらず、様々な病原菌の感染からご利用者を守っていくためにもこうした感染対策はこれからも怠けることなく、継続していくことの大切さを改めて感じました。
コロナといってもなるべく利用者や家族との面会は感染対策を行いやっています。手洗い、消毒、マスクの着用はもう少し必要でしょう。リモート会議は移動時間の削減など、時間が有効に使えて良かったと思います。
対面で話をするときはマスクを着用し、適度な距離を取るようになっている。
直接集まったのイベントができなかった場合は、各自家でできる工作などに変更したり、人数を絞って実行するようにした。そのせいなのか、次の年になるとなかなか人数が集まらないイベントなどが多かった（コロナ禍が長い為）。
徹底した感染対策を実施している。特に昼食事の黙食を実施している。
防災訓練、研修会への参加人数の制限、内容を変更し実施しています。それでも参加者が少なくなってきました。
利用者との面接を短くしている。担当者会議を照会内容に切り替えている。握手を控えている。会話するときの間隔を考えている（距離をおく）

問 16 誰もが住みよい地域づくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

誰もが住みよい地域づくりを進めていくためのご意見やご要望
・街灯を増やす ・移動スーパー ・生鮮品購入機会の確保（買物難民）
いろんな意見を簡単に言える場が、いろいろな方法であればいいのかなと思います。名前と住所を入力しなくても意見を言えるところがあると、より言いやすいのかなと思います。これがネックで言わない人もいると思うので。
課題や問題点、優先的に取り組む内容などは、事業所よりそれぞれの問題点、課題があるため何を優先すべきか判断しかねますが、これからの宮若市の活性化のためには、行政、各分野の事業所、学校、地域住民等、関わりを作っていくことでバランスよく地域が活性化していくのではないかと考えます。活動の中から各分野の様々な声が聞けるのではないのでしょうか。その活動は行政が主体となり、各分野を統括する。役所の活動とすることで市民が安心して活動に参加し、生活にメリットが見いだせれば活気ある住民が増え、元気な宮若市になると思います。
家庭における困りごと、子育てに対する不安や、相談が簡単に行うことができるように、定期的に相談会が設けられたり、育児相談会の場に、相談事業所や支援事業所も参加できるようにしていただけると、相談者のニーズにお応えできるのではと考えております。
体が不自由な方、または高齢で歩行など不自由な方が安全に安心して外出したり、生活を続けていけるような地域となれるよう、お一人お一人の困りごとの情報収集と情報提供の充実と具現化ができればと考えます。
関係機関がもっと密に連携を図り、より良い地域づくりに繋げていきたい。
教育環境、住居の構築、子育て支援を考えて、「宮若に住みたい」と言われる若い世代の声をよく聞きます。今までの経過の継続が、今後の市運営に力を見せてくれるのではないかと考えます。
誰と会っても気軽にあいさつできる笑顔になれるまちづくりを目指していきたいですね。
地域自治会への参加、加入を広く進めていっていただきたい。まず無関心な人が多い（地域生活全般）。世代ごとも全てにおいて、人と人とのつながりの薄さが目立ってきていると思料されます。
当事者本人が、地域社会にどう交流するか、逆に一般の人々が当事者本人とどう交流して、障がいの特性、個性をどう理解してもらうか。「住みよい地域づくり」のスタートとなると思います。交流の場を私達も積極的につくっていくことが大切だと思う。
福祉事業所との地域の交流の機会や連携が必要だと思いました。